

今月の言葉

「チノモウニ ワガコウヌコウ
ソウ クニヲハジムコトコウエン
二 トクヲタツルコトシソウナリ

〔前田民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ大
妹相手に相信ニ恭僕レテ持シ
博愛衆ニ及ボン学ヲ修メ業ヲ習ヒ
ニけだし、名文である。この部分
は近代市民社会に必要な道徳ではな
いが、教育的である。その解説もあつて、次第に意味が
分るようになつたものである。

教育勅語の冒頭の詞である。今更、
教育勅語など時代錯誤も甚だしいと
思われるかもしれないが、敢えてこ
こに持ち出したのは、私達までの世
代にとって、教育勅語は大きな存在
であったからである。

よく学び、よく遊べ

式典の時には校長先生が、紫の袱
紗から恭々しく勅語を取出して、莊
重な声で「チノモウニ……」と始
めたからである。

教育勅語など時代錯誤も甚だしいと
思われるかもしれないが、敢えてこ
こに持ち出したのは、私達までの世
代にとって、教育勅語は大きな存在
であったからである。

明治以来日本が歐米に追いつくこ
とに近づいてしまつて、今はや
り戻らない。冷然の眼で、歴史を振りかえって、良い物は良い
という主張的な判断を下さなければ
ならないと思うのである。

江戸の庶民には笑いがあつた。明
治以来の教育はどうも洒脱な笑い
を日本人から奪つてしまつたのでは
ないだろうか。

江戸後は戦前のあらゆるもののが悪いこ
とになつてしまつて、今はや
り戻らない。冷然の眼で、歴史を振りかえって、良い物は良い
という主張的な判断を下さなければ
ならないと思うのである。

江戸の庶民には笑いがあつた。明
治以来の教育はどうも洒脱な笑い
を日本人から奪つてしまつたのでは
ないだろうか。

千葉支部総会

治安の若人励ます

社団法人機動隊員等を励ます会
第8回 千葉支部総会



はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 實
TEL 03(739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)

第八回の支部総会及び懇親会を
千葉県は第一・第二・機動隊管
区機動隊、それに新東京国際空港
を抱えての治安情勢は予想以上に
厳しいものがあり、伴う機動隊の
役割も重大だ。

機動隊員等の代表を招いての式
次第は開会の辞、国歌斉唱が始ま
り、励ます会から小川都雄・千葉
支部長が歓迎の挨拶、鈴木實・理
事長が激励の挨拶をした。

来賓として沼田武・千葉県知事、
安藤忠夫・県警本部長、松井伸一
をねぎらうと共に一層の精進を期
待すると祝辞を述べた。

励ます会から感謝の意を込めた
記念品贈呈は、小川支部長から空
警機・片桐勝義隊長へ渡され、
空警・篠崎英介隊長が「治安維持
に万全を期していく」と謝辞。励
ます会・菅浦・支部世話人の乾杯
の音頭で懇親会へ移った。

警察庁が公表した六十三年版幹
察白書によると、ゲリラ事件はこ
の十年間で五百二十件発生してい
るが、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。

新東京国際空港警備隊の創立十
周年を記念する式典、本部長査問
隊員の集いなどの行事が、7月10
日空港警備隊操練場で、警察庁
次長・千葉県知事・各都道府県警
幹部、また機動隊員等を励ます会
等役員の臨席の下に行われた。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。

新東京国際空港警備隊の創立十
周年を記念する式典、本部長査問
隊員の集いなどの行事が、7月10
日空港警備隊操練場で、警察庁
次長・千葉県知事・各都道府県警
幹部、また機動隊員等を励ます会
等役員の臨席の下に行われた。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。

新東京国際空港警備隊の創立十
周年を記念する式典、本部長査問
隊員の集いなどの行事が、7月10
日空港警備隊操練場で、警察庁
次長・千葉県知事・各都道府県警
幹部、また機動隊員等を励ます会
等役員の臨席の下に行われた。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。



創設十周年

総裁のお祝いの言葉の後、安藤警
察本部長・鈴木警察官房次長・渡辺
公安委員長による巡査、続いて隊
員の集いなどの行事が、7月10
日空港警備隊操練場で、警察庁
次長・千葉県知事・各都道府県警
幹部、また機動隊員等を励ます会
等役員の臨席の下に行われた。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。

新東京国際空港警備隊の創立十
周年を記念する式典、本部長査問
隊員の集いなどの行事が、7月10
日空港警備隊操練場で、警察庁
次長・千葉県知事・各都道府県警
幹部、また機動隊員等を励ます会
等役員の臨席の下に行われた。

式典では、安藤警察本部長の式
辞、渡辺公安委員長の告示のあと、
参加した八百名の隊員に対し、鈴
木副部長次長が激励の祝辞を述べ
た。——空港警備隊は、上回前の
一年間で五百二十件発生している
が、闘争の中心は成田である。
そこで、千葉文部・曾根貢雄
副文部長発声による万歳三唱で閉
会したが、治安に身を挺する隊員
と、これを支援する会員の心の交
流は高まるばかりだった。





伝統を引継ぐ

警視庁機動隊四十周年

警視庁機動隊が発足してから今年で四十周年になる。

今、中国で再評価されている中国の言葉に「三十にして立つ、四十にして惑わず」とあり、ここから四十歳を不惑と呼ぶようになった。だが、機動隊の四十歳は不惑であるが、毎日が新しい治安情勢対応の連続である。それでも四十年は長い期間だ。この間、日本の治安をその時その時に身を挺して守り、輝かしい伝統を築き上げてきた機動隊員の先輩諸氏に、四十年の“その時、その時”を振り返って頂こう。

一期一會　一機　若林二郎

東京が「世界で一番安全な都市」と呼ばれて久しいが、東京の治治安の良さが国際的に高い評価を得てゐる要因のひとつは、直接接安維持の責任にあたる警察官個々の使命感と責任感に燃えた職務執行である。

私は一般職員であり、直接治治安維持に当たるわけではなく、立場も役割も違うが、心一つにしていじ目的に向かって仕事をしていく運命共同体の一員であることを運命的に思つてゐる。

特に機動隊は治安の最後の砦として、極左暴力集団撲滅のため命を賭けている。私は、このような機動隊の底辺を支える一員として、若い隊員の皆さんと一緒に仕事をできる心から喜んでいた。

前向きの姿勢で自分に与えられた役割を確実に果たしていきたい。
そして、今後、残り二十年を第一機動隊の歴史とともに、力強く歩んでいきたいと思っている。
(庶務係主任・般職員)

位だったことを憶えている。そ
頃の機動隊は、連日のように国
や首相官邸等の警備に出动して
いた。燃やされた機動隊の輸送件
が、国会付近でのデモ隊の暴動
激しさを物語っていた。

警察学校の生徒であった私は、
デモの警備にあたる機動隊の姿を
見て、自分もいつか機動隊で勤
したいと思っていた。それからま
だ少し、警察署での勤務のあと、昭和三
十九年の機動隊に入隊した。
昭和三十九年は、オリンピック
東京大会が開かれ、新警員つ
ても、この警備に従事する機会を得
た。特に開会式の警備に当たった
今でも当時のことが鮮明に思
される。

当隊は、機動隊を代表しての行動が事が多いこともあり、隊内・作物の修理・改善と美化運動の推進活動となり、環境整備にも努力している。また、私は「何でも屋」であると同時に、「すぐやる課」を自認している。電気関係の「事から人」で、仕事を、そして物の剪定に至るまで、隊員の皆さんが「若さん、お願いします」と頼りにしてもらっているのが私の喜びである。警察官が「相手の痛みの分かる温かい心」をもつて都民に接するよう、私も隊員の皆さんとの痛みが分かるよう、いつまでも温かい心をもちつづけ仕事をしたいと思つている。

隊員の皆さんは、入隊して何年か後に退隊していくが、私はいつも「一期一会」の気持ちで隊員の皆さんと接し、転勤後、機動隊に遊びに来て「若さん元気か」とボイラーハンに顔を出してもらえるようにしたいと思っている。

一般職ではあるが、治安維持による第一機動隊の裏方を支えるとしての意識と自覚をもつて、

幌で覆い、中に駄の板ベンチを並べに配し、冬は冷房、夏は暖房装置で、色のみ雪白の輸送車であつたが、終戦後の物資の少ない時製造であり、力はなく通称南部（三機正門の坂を南部区隊といつた當時つけられたもの）を完全な個小隊（分隊長三人、隊員二十人）が乗る、帰隊時に坂に坂下まで各分隊が降車して後押しをしたたゞに隊員の足音が地軸をゆすり押し上げた。

規制の原動力となっていた。
四 馬ころかしと空気投げ
隊員のニックネームに「馬ころかし」と「空気投げ」があった。
M隊員は本道の猛者で、「払腰」を得意とし、その技は鋭く、馬ころがす程だといわれ、馬ころかしというニックネームを奉つたが、ある夏の連隊対抗でM隊員が相手と組み得意の払腰で投げようとしたまま前方に倒れ込んだところ、相手選手がひねられた様な形でも、なんどりうつて転倒して、「一本」となった。
それ以後「馬ころかし」から「空気投げ」へとニックネームが変り、活躍していくが、不幸にも最近他界してしまった。昔は、名物男が次々と輩出していたが、そのなかで、とデモのことが載らない日はない。
訓練のよき思い出

前向きの姿勢で自分に与えられた役割を確実果たしていかれた。そして、今後、残り二十年をどのように生きたいと思っている。

(主席・般職員)

機動隊勤務

一機 阿部 正

第一次安保反対闘争が盛り上がり始めた昭和三十五年、隊舎が木造一階建てで、隊舎は風が吹けば砂埃が舞い上がる「メートル地帡」の機動隊の勤務を命ぜられ、八年間も第機動隊に勤務させてもらっている。当時の思い出を述べてみたい。

第一機動隊の門をくぐったのは、昭和三十五年の初春で、装備・車両とともに今日では考えも及ばない劣弱なものではあったが、士気は極めて高い機動隊であつた。

「雪白の輸送車だ」と歌われている当時の輸送車は、今日の冷暖房・無線付きのバス型車両とは比較にならない白色幌付き・手動サイレン付きトラックに、一個小隊(三十五名位)が乗車し、單車(自動・輸車)の先頭誘導で、ノンストップで都内を疾駆していた。装備は制服に帽帽・鉄ヘル・便所蓋と称していた防震砂箱類現在の出動服・青ヘル・大柄の鞄袋とした機動隊員が、當時の服装を見聞した時は笑いをこらえられないに違いない。

祭生活は、テレビもなければテレビもない、冷蔵庫、ビデオはあるはずもない……。ないないづくりの八晩間に四人部屋、フトンを重ねて敷いた生活も楽しい思い出である。

昭和三十年代は、大衆運動と技術の第一次安保闘争・競輪・競馬・オート・競艇場監視等・都民と接触する機会もあり楽しい事も多かった。墨東地区一モードル地帡の水害で負傷者が続出した時代であった。出勤後、「カッパ」の名を高め住民に感謝された時代であり、現在も空堀の水害に備え連日訓練に励んでいる。

頃の機動隊は、連日のように国や首相官邸への警備に出動して位だったことを憶えている。そして、あの六・一五事件で、燃やされた機動隊の輸送車が、国会付近でのデモ隊の暴動激しさを物語っていた。

警察学校の生徒であった私は、昭和三十九年の春に、オリンピック東京大会が開かれ、新規員の機動隊に入隊した。そこで、自分もいつか機動隊で勤務したいと思っていた。それから察署での勤務のあと、昭和三十年に待望の機動隊に入隊した。

昭和三十九年は、私も、この警備に従事する機会を得た。特に開会式の警備に当たったが、今でも当時のことが鮮明に思われる。

当機動隊では、デモの警備はもちろのこと、競輪・競馬など所定警備や、アメリカ大使館等警備にも当たっていた。

そんな厳しい勤務の中でも、一泊し、翌日は、山梨県警の機隊員と共に山中湖畔の派出所で、車にゆられないながら富士吉田市まで行き、その夜は自衛隊の演習場で、山梨県の富士五湖へ行った。とはよい思い出の一つとなつた。早朝に隊を出発し、幌型輸送車に就き、三日目は、山中湖畔キヤンブを張り、船外機の取扱いやボート練習、水泳訓練等を実施し、夜はキヤンブファイアーし、楽しい一時を過した。

当時は日韓条約反対闘争で、だけに、この訓練が一層よき思出となつた。

その後、昭和四十二年に退隊し、昭和四十七年九月に、浅間山莊で入隊した。学園紛争は落ち着いてきているが、過激派同士の衝撃が続き、また、日中国交回復による中國大使館の常駐が始まり、中国大使館の常駐が始まった。私は残念なことに着て、昭和五十一年に隊の勤務を終り、一年目に体をもてて入院して、員の皆様に輸血や御見舞いをいだくななど、仕事以外に大変な御懇意をおかけした。

皆様からいろいろと励ましを

はまげ

読者の広場



四国靈場巡拝に思う

中村是一

長年四国八十八ヶ所の靈場を巡拝させていたが、弘法大師の徳に心より大師を敬愛しておれます。靈場を巡る事は、これと心付かない大きな恩を周囲から受けます。靈場を巡る事は、これと心が落ち着き、安らぎを感じる時です。

大師は「四恩の報謝」を折に触れてお説きになつてますが、日常お見送りする事は、これと心付かない大きな恩を周囲から受けます。靈場を巡る事は、これと心が落ち着き、安らぎを感じる時です。

大師は「四恩の報謝」を折に触れてお説きになつてますが、日常お見送りする事は、これと心付かない大きな恩を周囲から受けます。靈場を巡る事は、これと心が落ち着き、安らぎを感じる時です。

自分に与えられた職分を眞面目に果たしているのです。先頃、成田でのトラック放火事件などに見られる一部反動的分子や、無差別に一般人を巻き込む様な抗争を繰り返す暴力團から社会を守るために、日夜黙々と出動・訓練に明け暮れる機動隊の皆さん、大きな拍手をもって迎えられる舞台を持たない人です。

その皆さんが私に安らぎを創り出してくれているのです。自分自身は「そばの世界」に漫つてい

読書余聞

滋岡長平

かごしま

お知らせ

業務局移転

七月十五日

より左記へ移りました。宜しくお願いします。

144 東京都大田区仲六郷4

-32-5 五十鈴ビル2F

電話03(739)0590

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

今月の言葉

警察白書

集団警備力を充実・強化

今年の夏は世界的な異常気象が続いた。気象庁によると、この夏は日本を含め世界の九つの地域で、雨量や温度等の異常現象があつたとのことである。アメリカの中西部では雨が少なく、今世紀最大といわれる干ばつに見舞われ、アジアでは中国南部は正雨・洪水というのに中国北部東部は正反対に高温・干ばつという状態である。

日本は昭和二十五年以來三十八年ぶりという極めて異例的な気圧配置で置かれ、七月は梅雨の終りがあつたのかなかつたのか分らない様な長雨が続き、八月に入ると今度は熱帯低気圧や台風がやたらと発生し、しつこい雨降りにうんざりさせられる

東急　トランジ

東京では八月十日から十一日にかけてのたった三日間の雨量が、通常の八月の一個月分を越えた。温度は、というと太平洋高気圧の張り出しが北日本に移つてしまい、関東以西は

自然の異常と災害

数日間にわたって小さな地震である。自然がつたが、連續する大規模異常とをもたらすため何か大きな異変でも起害に対する懼怖心は今までにならないか、と不安が拭い切った。

の異変はしばしば大きな災害をもたらす。忘れてならないのは災害をする常日頃の準備である。時月は関東大震災のあつた月にしている。この機会に、災害に

日本ソウルオリンピックが開催されているが地元は勿論日本でもテロ行為やゲリラ活動の発生が懸念されている。こういったいわば人災は絶対に起してはならないし、十分に備えさえすれば事前に防止すること

1

10

(兵庫県警察機動隊遊撃部隊活動要領の応用訓練



機動隊の歴史

はげまし

発行所

社団法人 機動隊異等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 寛
TEL 03(739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)

警察局が公表した「二十一年版警察年鑑」には、テロ・ゲリラの根絶を目指す警察の対応を特集している。白書は過激派の活動が各種爆弾を使用した無差別テロの様相を見せており中で、「テロ・ゲリラを絶対に許さない社会環境の醸成」に目をあげて取り組む必要があると強調している。

機動隊の現況

機警視隊
島部派遣

新幹線車両小中車の各種車輛の動用車両等がある。また、機能別には、爆発物処理機材として、爆発物を探索認定する機材、爆発物を

事する警察官を防護するための機材等がある。

今月の言葉

ご快癒を願う

はげまし

陛下に捧げる祈り

—記帳警備に当る機動隊—

去る六月下旬に当はげます会の第十一回通常総会が終了して、警察庁、警視庁幹部の方々と管内の機動隊員の代表の人達を交えて懇親会が開催された。そのとき、私は若い機動隊員の方数名とビールの一杯を傾けながら懇談したが、その若い隊員達の日常訓練の心構えと演習の様子や、朝有事の際の対応等々若さと熱気と溢れる話を聞いて、非常に感動した。——現代の多くの一般の青年の意識と行動にはしつかりしたものと考え方がある

のであろうか、と思つた。隊員諸君のような特別の任務や使命のものでなくとも、自分の生きざまについて若いだけが發揮できる活力のある確固たる考え方をもつて生き抜いている。

言葉少なに、雨のなか記帳のために二時間も待ち続けた人々の警備に当たる機動隊員もまたただご快癒を雄弁に物語っている。

天皇陛下のご容体が悪化した九月十九日以降、日本列島は愁雨に覆われた。予断を許さないご病状が連日報道されている中で、ご病気の回復を願う国民の記帳は、日を追つて広がりの輪を大きくしている。

皇居前に集う老若男女、誰に頼まれたわけでなくあらゆる職業・階層の人々が日本列島の隅々から来て、祈り、ぬかずく。日本で行われた初日だけで、記帳者が二万三千人を超えたことが、陛下への敬愛を雄弁に物語ついている。

国民の半数以上を占める

戦後生まれの人間にとつて、

天皇という存在は不可解と

いう声もある。しかし、現

実に天皇陛下を敬愛する人

は多い。庶民は、戦争も復

興も陛下と共に歩んできた

と考へている。だから理屈ぬきである。お見舞われた初日だけでも、記帳者が二万三千人を超えたことが、陛下への敬愛を雄弁に物語ついている。

若さの魅力

の日本は経済大國になつて物資豊富優雅な時代であるだけに、今こそ将来に向かつて、これから二十二世紀へ向けてしっかりと足元を固めて邁進してほしいと思う。若さの魅力は若さの特權であり、それは反面、若さの責任もあるのであるから。この小文を書いた九月十七日、テレビの映像は隣國ソウルの史上最高

の百六十ヶ国が参加したオリンピック開会式の模様を映し出している。この稿が「はげまし」紙上に掲載される頃は、全ての競技も閉会式も無事終了していることであろうが、今回のソウルオリンピック開会式には、わが機動隊の諸君が長期に亘つて、献身的に警備上の協力をされたことを聞き及んでいる。私達はその苦労に対し、心からお礼を申し述べること書き添えたい。

(馬場鋼太郎)

発行所

社団法人 機動隊員等を慰ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 賢
TEL 03(739)0690
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)



今月の言葉

65年度概成目指す成田二期

暴力を封じ込める

はげまし

テロ・ゲリラ許さない



△ 警備に出動する新東京国際空港機動隊

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 真
TEL 03(739)0590
購読料 1年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

日本の治安はNo.1という
のが世界各国の評価だが、過激派が本格的な爆弾闘争への動きをみせてきたのが
気がかりだ。

去る七月に公表された六
十三年版警察白書では「テロ・
ゲリラの根絶を目指す警察の対応」を特集したが、各種爆弾を使用した無差別テロの傾向を、一般市民は心の底から憎んでいる。

民主主義を危険にさらし、
日常の市民生活を脅かして
いる過激派の闘争の中心は、
成田に向かっており、空港に向けられた翼付き弾の発射、駐車中の空港リムジンバス焼き打ちなど、悪質な事件が続いたが、これからも成田を巡る現地闘争は工スカレートしそうだ。

増える機動隊の出番

閣議決定の六十五年度概成(大枠完成)を目指す政事成・空港公団は開港十周年を迎えた今年五月以来、二期用地内に残る未買収地を獲得のために新たな展開を始めたが、こうした動きに反対派は「強制収用が近い」とみて、一斉に反発、一期用地内の團結小屋の要塞工事を各地で進めている。難航する成田空港二期工事だが、そこへ過激派があおる。土地收用の手続きの前提となる

こうした成田二期工事に反対する三里塚・芝山連合空港反対同盟北原派の全国総決起集会が十月二十日開かれ、過激派など約五百人が参加、「廢港まで闘う、二期工事の実力阻止」と氣勢をあげてデモ行進したが、機動隊員約九千人が警戒に当たつたため大きな混乱はなかった。成田空港は、三月には空港利用客が延べ一億人を突破したが、滑走路一本だけに限界に達し、『片肺空港』は諸機能が過激派が危ないといふ目標のなかにおいて、治安警備の先兵となる機動隊の出番がさらに増え

そうだ。
世界のトップレベルの国際空港としての前途に課題は山積している。過激派が続いていることがなくなつた」と辞表提出へと発展した。九月下旬に、千葉市内でも小川・千葉県收用委員長を鉄パイプでメット打ちにし、重傷を負わせている。一期工事で機動隊と反対派の激しい衝突で、六人の死者を出した惨事を再び繰り返さないとも限らない。

それがかりである。機動隊にかける期待は高まるばかりである。破壊しようとする暴力は、法もとに少しでも早く除かなければならぬ。市民の機動隊にかける期待は高まるばかりである。



く 有事に備えて猛訓練に励む空港機動隊

先日、恒例の東北六県警察対抗柔道・剣道大会が今年度は山形市で行われた。各県警の機動隊の精鋭をもつた選手達は、全員一段から五・六段の有段者の猛者ぞろい、朝早くから総当たりのリーグ戦式で行われた。従つて選手一人が五回の試合を経て抜くハーデスケジュールである。

日頃の厳しい練習で鍛えた技を身体ごと相手にぶつけて試合場いっぱいに繰りひろげられる格闘技は熱氣にあふれ、夕方まで続けれられた。柔道・剣道といふのより無責任な予測すらあつたが、運よく渡して、鐵をもつた心身は、力を伸ばしていける地元山形警が総戦から波に乗り、大差をつけて優勝

の栄に輝き、又、剣道は着実にポイントをあげる実力者揃いの福島県警が、見事に少差ながら優勝を逃げた。その上位勝者が数名も表彰されたことも、立派なことであった。

今年も私は、当会の理事長杯の人間の柔道大会を開いた。柔道は、今年めきめきと実力とされるべきだ。

今年も私は、当会の理事長杯の大差をつけて優勝した。柔道は、今年めきめきと実力とされるべきだ。

トロフィーを優勝チームのキヤブテントをあげる栄誉を理事長代行といふの榮誉を理事長杯のキヤブテントに授ける。

柔道・剣道といふのより無責任な予測すらあつたが、運よく渡して、鐵をもつた心身は、力を伸ばしていける地元山形警が総戦から波に乗り、大差をつけて優勝

が國の世界の治安の良さを支えて、それは地元韓国の警備の厳戒体制

されどスポーツ

の栄に輝き、又、剣道は着実にポイントをあげる実力者揃いの福島県警が、見事に少差ながら優勝を逃げた。その上位勝者が数名も表彰されたことも、立派なことであった。

今年も私は、当会の理事長杯の人間の柔道大会を開いた。柔道は、今年めきめきと実力とされるべきだ。

今年も私は、当会の理事長杯の大差をつけて優勝した。柔道は、今年めきめきと実力とされるべきだ。

トロフィーを優勝チームのキヤブテントに授ける栄誉を理事長代行といふの榮誉を理事長杯のキヤブテントに授ける。

柔道・剣道といふのより無責任な予測すらあつたが、運よく渡して、鐵をもつた心身は、力を伸ばしていける地元山形警が総戦から波に乗り、大差をつけて優勝

が國の世界の治安の良さを支えて、それは地元韓国の警備の厳戒体制

を感じた大会であった。それは金額

のものである。

そして時代の流れとともに、オリ

ンピックに対する選手達の考え方も

変化してきたと思う。男泣き踏ん張りの金、これでやつと日本へ帰れま

す、金でなければ四倍も五倍も同じ

です。フレッシュヤーがかかる程楽し

くやれました。さわやか清風コンビ

…とてものこの変化についてゆけな

いのかも知れない。

ともあれTV実況に喜んでいた

市民としては、どんなに時代が変化しようと素直な感想をもつたかが

スポーツ・されどスポーツ。がんば

れ! ニッポン。(澤昭郎)





は
け
ま
し

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-1
丁目14 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 實
TEL 03(739)0590
講読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には講読料を含む)



年頭の御挨拶

警察庁長官 金澤昭雄

差別凶悪化の傾向が強まっている国際テロ情勢は、予断を許さない状況にあります。

隊員等に対する深い御理解と暖かい御激励をいたしております機動隊員等を励ます会の会員の皆様方に対し、心から御礼を申し上げます。

昨年は、「連の成田闘争警備を初め、ソウルオリンピック関連警備などの重要な警備が続きましたが、会員の皆様方の暖かい御理解と御支援のもと、全国警察が文字通り一丸となって対処し、初期の目的を達成することができました。

本年も、治安の底流をなす内外の諸情勢には、大変厳しいものがあります。特に、成田闘争、反皇室闘争等に取り組む

中で「テロ」・「ゲリラ」を含む過激な行動の一つである極左暴力集団の動向や無

理的対応を達成することができました。

今年も、成田闘争、反皇室闘争等に取り組む本年も、治安の底流をなす内外の諸情勢には、大変厳しいものがあります。特に、成田闘争、反皇室闘争等に取り組む

全力を尽くして 国民の負託に応える

警視総監 大堀太千男

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。会員の皆様には平素から機動隊員等に深い御理解と暖かいご支援をいただいていることにに対し、深甚なる敬意と感謝を申上げます。

昨年は国内外においてテロ、ゲリラが多発する厳しい情勢の中、一連の成田闘争警備をはじめ、ソウルオリンピック大会開催に伴う関連重要防護対象の警戒警備等多くの重要な警備活動に携わったのであります。が、会員の皆様方の暖かいご理解と、ご支援を得まして所期の目的を達成することができました。

さて、本年の治安情勢を展望しますと、依然として厳しいものがあります。

特に、極左暴力集団は組織の非公然、軍事化を一層進めながら「成田」「反皇室」「反戦・反安保・反核」に「反権力」を絡めた闘争を活発化させるものとみられ、い申し上げます。

一方、右翼団体等は、内外の諸問題にご挨拶をいたしました。



名譽理事長 大内俊司
社団 機動隊員等を励ます会

早いもので、励ます会が発足してから新年の三月で、満十五年になります。発足の頃に生まれた子供は、義務教育を終えて高校に進学するか、社会にとび立つかといふところまで育っています。昔ながらの元服の年頃で、大人の仲間入りをすることがあります。

治安維持の最後の砦たる自覺誇りを持つて、今後ともたゆまざる研鑽を積み、いついかなる事態にも迅速・的確に対処できる実力を培い、有事に際しては、全力を尽して国民の負託に応えてまいります。

会員の皆様におかれましては、今後とも国民と機動隊員等を結ぶ「心のかけ橋」として、また「心の支え」として、一層の激励と、ご叱声を賜りますようお願い申し上げます。

さて、今年は十二支でいう巳年で、動物として、また「個人チロ」として、古くからの日が子想されるのであります。



社団 機動隊員等を励ます会

理事長 鈴木 實

の皆様の御陰で日本の社会が安定を維持出来たからこそ経済活動に専心できたと言えます。

わが国の経済成長は今後も続く見通しであります。それに伴つてわが国の世界における地位は高まり、外国要人の来日なども頻繁になりました。この点日本の地政を守ることは世界から注視されています。

こうした厳しい情勢のもと、全国の機動隊員等は、今までに増して研さんを積み、いかなる事態にも迅速的に対応できる強じんな実力を養い、有事に際しては命を賭してその責務を全うし、國民の期待に応えてまいる決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも全国の機動隊員等に対し、一層の御支援、御指導を賜りますようお願い申上げます。

終わりに、貴会のますますの御发展と会員及び御家族の皆様方の御幸運と御健康を祈念して年頭の御挨拶をいたします。

元服の年を迎えて

名譽理事長 大内俊司
社団 機動隊員等を励ます会

早いもので、励ます会が発足してから新年の三月で、満十五年になります。発足の頃に生まれた子供は、義務教育を終えて高校に進学するか、社会にとび立つかといふところまで育っています。昔ながらの元服の年頃で、大人の仲間入りをすることがあります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。

これまでの期間、年々發展を重ねて今日に至ったことは、会員の皆様のご尽力はもとよりのことながら、この会が充実することになります。



社団 機動隊員等を励ます会

實

の皆様の御陰で日本の社会が安定を維持出来たからこそ経済活動に専心できましたと言えます。

わが国の経済成長は今後も続く見通しであります。それに伴つてわが国の世界における地位は高まり、外国要人の来日なども頻繁になりました。この点日本の地政を守ることは世界から注視されています。

こうした厳しい情勢のもと、全国の機動隊員等は、今までに増して研さんを積み、いかなければなりません。東京ほどの大会において事件の発生率が低いのは実に大変なことなのです。これもひとえに位に相応しい治安をこれからも維持していくためです。われわれは今年も機動隊員等の皆様方の日頃の御努力のたまものですし、われわれは今年も機動隊員等の皆様に一層の励ましをかけよどめます。

わが国は自他共に認める経済大国ですが、治安大国としても諸外国から高く評価されているのを日頃あまり感じていません。これまでわが国の経済発展を陰ながら支えてきた機動隊員等の皆様方の力には大きなものがありました。日本の質はあります。日本は常に高い評価を受けています。これがわが国の経済発展を陰ながら支えてきた機動隊員等の皆様方の力には大きなものがありました。日本は常に高い評価を受けています。これがわが国の経済発展を陰ながら支えてきた機動隊員等の皆様方の力には大きなものがありました。日本は常に高い評価を受けています。これがわが国の経済発展を陰ながら支えてきた機動隊員等の皆様方の力には大きなものはありませんか。会員の皆様と一緒にこの会のさらなる充実を計つていく所存です。

年頭に立つ指揮官

1989 全国機動隊隊長新年の所感



東北管区機動隊



的確な状況判断

今年も昨年以上の厳しい警備

情勢が予測され、日々惹起され

る各種警備事案にも変化が見ら

れる。我々はこの変化に確

に対応するため、警備訓練に

一層の工夫をしなければならな

い。基本原則には移り変わり

はないとしても、運用の面にお

いては、情勢を良く見極めて予

想される各種事案を先取りした

訓練方法の必要性が痛感させら

れる。この現実を直視し、昨年

に引き続き強力に頼られる部隊

想される各種事案を先取りした

訓練方法の必要性が痛感させら

れる。この現実を直視し、昨年

に引き続き強力に頼られる部隊

想される各種事案を先取りした

訓練方法の必要性が痛感させら

れる。この現実を直視し、昨年

に引き続き強力に頼られる部隊

茂



関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区 機 動 隊

関 東 管 区

青森県警察機動隊

任怨分誇



年が変われば、また社会情勢の変化からいかに警備現場が敵しく多様化しようとも機動隊の基本命題は変わらないと思う。士気旺盛にて精強な部隊の育成を内に秘め、隊員共々それが敵しく多様化しようとも機動隊の立場は汗と泥にまみれ、それた立場で汗と泥にまみれ、訓練をとおし、国民の理解と協力を得られる警備実施に努力したいものである。

このため隊員一人一人にいたるまで、既成観念あるいは慣例踏襲というような思考停止の状態から脱皮して、現実に直面し、多目的活動を用いた訓練なども常々創意工夫して、実戦で学ぶ。そのため隊員一人一人にいたるまで、既成観念あるいはスクランブルなどという手法を用い、またあるときは装備器材の省略なしには多目的活動を用いたり、実戦的各種訓練を時々忘れる。機動隊を模倣し、警備活動の最後の「とりで」たる重大任務をひとつひとつ地道に果していく。それがいつの日か隊員共々に人生の想い出の一頁となることを信じ、希望したいものである。

岩手県警察機動隊
若虎精神の伝統堅持

瑞彦

(3) 昭和63年12月25日

手山)を仰ぎ、「我が若虎隊員(若手山)が若虎精神(強・明るく・頼もしく)の隊員のもと、治安の最後の砦としての誇りと使命感に燃え新年を迎えた。我が隊のシンボルマーク「虎の子」マークは「虎は千里往つて千里還る」の諺のように勢いますます盛んである。虎にあやかり勇猛果敢に任務遂行を果すことに心を一つにして

いふ。岩手精神の伝統堅持

みちのく南部路の岩手富士(岩手山)を仰ぎ、「我が若虎隊員(若手山)が若虎精神(強・明るく・頼もしく)の隊員のもと、治安の最後の砦としての誇りと使命感に燃え新年を迎えた。我が隊のシンボルマーク「虎の子」マークは「虎は千里往つて千里還る」の諺のように勢いますます盛んである。虎にあやかり勇猛果敢に任務遂行を果すことに心を一つにして

いる。岩手精神の伝統堅持

瑞彦

川石

指揮官の喜び

山形県警察機動隊



大栗弘

社会環境の著しい変化は、高度情報化、高齢化あるいは意識の多様化等が治安面でも敏感に反映し、その量的拡大のみならず、新しい形態の犯罪や凶悪化の一途をたどるテロ、ゲリラの多発など社会不安を増大させている。

このような厳しい情勢の中で、警察は、日夜地道な努力を傾けているが、とりわけ我々機動隊の果たすべき役割も重要な国民の期待も大きいと思われる。

この国民の期待に応じたために、強力な警備を作りが大切であり、訓練に裏打ちされる力を失なげなければならない。

私はかつて機動隊の隊員當時、柔道で腰を痛め、ギブスベットで百日も寝たきりの人となつた

ことがあつた。病んで初めて健康の価値を知る」という言葉があるが、自分の足で立ち、自分で水道の手を使つてザブザブと洗えたとき、嬉しさのあまり涙が止まらなかつたことを思い出す。四五年名古屋を前に火災ひん、投石が飛び、世の中が騒然となつた事など、成田闘争等の一部を除けば平穏な昨日嘘のよくな出来事である。「治安がジリジリと弛まぬ氣づいたことはもう遅れてである。今日にはもう遅れてである。今日の過去の教訓を生かした体で、学校が厳しい訓練がより大切だと思ふ。ある人が「自分に学歴はないが実歴はある」と言ったが、正に我々現場屋にとつてい

る。私はもう遅れてである。

福島県警察機動隊

強い部隊をめざして

木本 康二

指揮官の喜び

特に、本年は、次の五点を柱として指導したい。

また、機動隊は、若人の集団である。機動隊の歩む姿として

訓練である。

「九月の功を一箇になく、

て、文武両道の厳しさを説き、不屈の精神力を養うための努力

を胸にきざみ、幾多の苦難に立ち向う決意を新たにしたところである。

私は、機動隊員の歩む姿として

訓練である。

さて、本県機動隊の所舎は、

年末ぎりぎりに新築落成し、新

た。この厳しかった任务を完遂し、隊員一人一人の顔に多くかつた。この厳しかった任务を完遂し、隊員一人一人の顔に多くかつた。この厳しかった任务を完遂し、隊員一人一人の顔に多くかつた。

さて、本県機動隊の所舎は、

年末ぎりぎりに新築落成し、新

た。この厳しかった任务を完遂し、隊員一人一人の顔に多くかつた。

さて、本県機動隊の所舎は、

年末ぎりぎりに新築落成し、新

た。この厳しか



田 治 義 保

創設期には、学園紛争の山場で二〇周年という記念すべき年を迎える。

この間、紫紺の隊旗のもと多くの先輩が警備現場や訓練で血と汗を流し、幾多の試練を経て、社会の隅々まで邁進していった。

この間、素晴らしい伝統が継々と

引継がれていた。

この良き伝統を継承し、更に、力を尽くして、「強い機動隊」を実現させるため、「強い機動隊」として、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」には、共に汗を流し、涙し、喜びを分ち合い、生涯の友にめぐり会え、切磋琢磨でき、る職場であり、ここに素晴らしい魅力がある。

この記念する年にあたり、次代を担う若い隊員とともに決意を新たにして、先輩の築いた伝統に胡座をかくことなく、この魅力ある組織を更に飛躍させ、精銳機動隊の中核となるよう一層の努力をしていく。

警視庁 第七機動隊



田 勝 弘

当隊は、武藏野の面影が残る調布に発隊して、この一月十日で満二十年を迎える。隊訓である情熱、英知、創造のものと、私は以前から機動隊の在り方を、「一燈照隅、万燈遍照」の言葉に端的に表わされていると思つてきただところである。

どんなん小さな燈でも、暗闇の



藤 弘 依

昭和四四年十一月、佐藤總理

を亮服し輝しい業績を築き、明るく、強く、頼しく」の隊訓のもと、

職責を遂行し、自らの持つ

力と、

あたるなど、はばなしの出發であった。

この間、

紫紺の隊旗のもと、

多くの先輩が警備現場や訓練で

血と汗を流し、幾多の試練を経て、社会の隅々まで邁進していった。

この間、

素晴らしい伝統が継々と

引継がれていた。

この良き伝統を取り組む

る、強く、頼しく」の隊訓の

もとに、

素晴らしい伝統が継々と

引継がれていた。

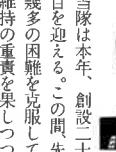
この間、

豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 股

は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

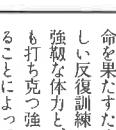
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

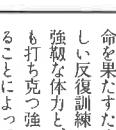
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

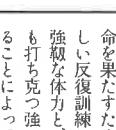
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

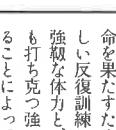
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

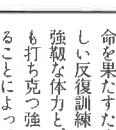
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

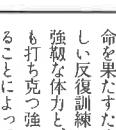
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

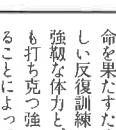
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

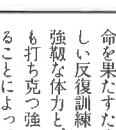
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

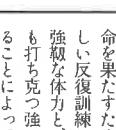
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

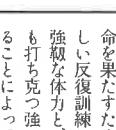
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

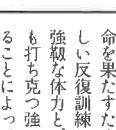
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

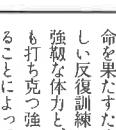
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

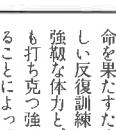
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

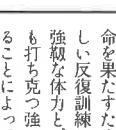
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

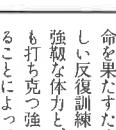
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

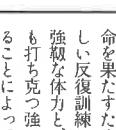
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

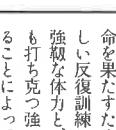
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

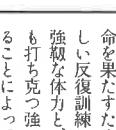
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

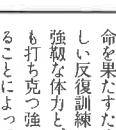
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

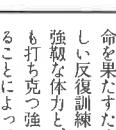
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

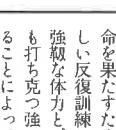
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

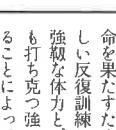
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

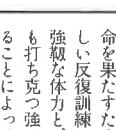
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

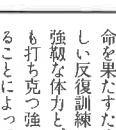
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

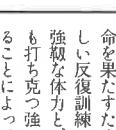
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

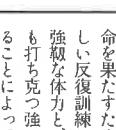
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

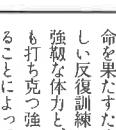
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

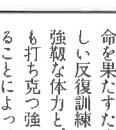
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

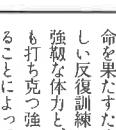
は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな人間性と豊富な智

力を図るべく、人間修練の場と

して、日夜自らを厳しく律し、日々精進をしていく。

「機動隊」



田 勝 良

は、何事にも屈しない強い精

神力、豊かな

隊創設一〇年という節目の年を終え、新たな一步を踏み出した当隊は、特別出向隊員を含め一致協力して、隊訓として掲げ

神奈川県警察第一機動隊
隊員と共に
神奈川県警察第二機動隊
隊員と共に



神の下、全隊員切磋琢磨するこ
とを望むものである。



東京サミットなどの出動を通じて貴重な体験をすることができる。昨年二月機動隊長を命ぜられ、行動等その情勢が顕著に表面化して来ている。

井村 敏英
最近の治安情勢を見れば、一段とケリラ指向を強める極左暴力団に加え、相対する動向として新たに市民グループを中心とした反原発闘争の気運が高まっている現状下にある。

本県においても昨年、極左「軍事庫」の摘発、核燃料輸送阻止行動等その情勢が顕著に表面化して来ている。

本県においても昨年、極左「軍事庫」の摘発、核燃料輸送阻止行動等その情勢が顕著に表面化して来ている。

井村 敏英

<p

第三種郵便物認可

に男冥利に尽さるものと思つてゐる。
私はこの間の勤務の指針として、
「限りなき前進と良き伝統を確
保するため」
一、我ら高き知性を養おう
二、我ら使命に情熱を燃やそ
うの隊訓を念頭に置きその実践に
努めて来た。
来るべき年もまた激動の時代
であろう。
昨今、スネ毛のないヤサ男が
モテる時代だそうであるが、そ
のようないふに任せては困る
亡人のいつの時代であつても
歯をくいしばつて黙つて社会を守
毛むくじやらの男が社会を守るだ
そう、金太郎のような氣はや
さしくて力持ちの男ができる。
私はこれまで金太郎のようない
隊員の育成を自らして隊員に厳
しい訓練と學習を要求してきた。
今年もまた、金太郎隊員の育成
のため頑張つつもりでいる。
大阪府警察第一機動隊
機動隊員にのぞむこと
川口 均

二 勉強する機動隊員であることをと。
急変する最近の世相を敏感に感じとり、それに即応できるよう勉強せねばならない。また、自分自身の幅を広げるための勉強も大切である。継続は力なりといわれるよう、勉強はいつも安心して乗れる。われわれ人間が自動車にはブレーキがあるからこそ安心して乗れる。われわれ人間が「理性」というブレーキをもつていているから健全な社会生活を営むことができる。ブレーキを効かなくなれば暴走車両、暴れ人間である。

三 自己にブレーキがかけられる機動隊員であること。自動車にはブレーキがあるからこそ安心して乗れる。われわれ人間が「理性」というブレーキをもつていているから健全な社会生活を営むことができる。ブレーキを効かなくなれば暴走車両、暴れ人間である。

兵庫県警察機動隊
これからの機動隊
昨年は、暴力団抗争に伴う戒厳部隊や警衛警護など多忙な年であったが、内外の評議やおむね所期の目的を達し得た。確信している次第である。

さて、本年も内外の諸情勢厳しく、暴力團に対する治安保持の戦士として、あるいは集団警備力の中心として機動隊による期待は大きなものがある。われわれは、これらを深く認識し、機動隊員としての自覺、厳正な規律を基調とした同窓会団結を図り、地道で計画的な努力を重ねて、個々人の資質高め、小数ではあるが精銳の他共に許す立派な機動隊員として活動し、その声価に恵みなければならない。

最近の隊の活動状況を見る限り、全体としての活動量は減少し、小部隊による活動が増加する方向にある。このことは、指揮官の階級が低くなるとともに、員が直接一般住民に接する機会が増加し、その言動の一つかつが隊の評価を左右することになり、従来やもすれば見られた「あなたを考える人・わたしの甘い考へは許されない。

国民の信頼こそが隊活力の基礎であることを鉛肝に、それの立場に応じた職責を十分果たし得るよう、知・体・心わたる日頃の研さんを期待する。諸君、一緒にやろうじゃなさい。

ルマークにしている。伐折羅大将は、他の一神と共に、七千の将兵を引き、薬師が実現しようとした。平明に社会づくりを妨害しようとすると悪魔と、日没時に結ぶる武将である。こういう意味から新薬師寺のお許しを得て、良県機動隊(管区機動隊)、伐折羅大将を誇りとし、シンルマークである。奈良県機動隊(管区機動隊)は、伐羅大將のごとく、強い部隊とともに、治安維持に光輝を發揮してきました。市民にやさしい、親切な部隊でありたいと願っている。新年を迎えるに際しては、治安維持の最後の砦折羅部隊の一層の飛躍の年したい。

章 正田 情勢の急激な変化を思い、年のは平稳を願う気持が近年強くなつた。しかしながら新ら昇る安上憂慮されるよつた事案の生を見ない当県にとって、縣民に立つ我々警察官が平穏慣れからくる安易な日當業務のマンネリ化現象であろう。大人の体常に在る程度の緊張感。大人の体日常のゆまぬ心身の鍛磨である。されば老化する」と言わねばならぬ。機動隊の命は警察の却て活動の最前線に立つといふと、上下一体の高い士気とともに、その源泉は強い使命感である。せなければ老化的である。長い刑事部門の勤務から女性警備部門にかわつて一年近くになり、機動隊の眞の姿のなかたるかが、更には隊の運営のなかすかしさ、問題占等がわかつて来たが、一朝一夕に解決できないものも多い。

とはいへ昨年一年、新任僚長あらゆる事柄に全身全霊を打ちこんだが、ぶり返つて反省省りである。苦しみ樂しみをせ分ち合い、そしてやさしい気り中の眞の連帯感は生まれる。隊員の一人一人が誇りと使命をもつて團結し、県民にいたる機動隊に育てていきたい。島根県警察機動隊 新生機動隊に榮光あれ

にも質的变化をもたらし、少なからぬ変革が要請され及んでいた。

そこで昨年末、機動隊の「組織の若返りや任務枠の拡大、教養訓練科目の見直しなど、統一と榮光を将来に向って発せるべく改革を試みた。

今年は新生機動隊出發の日である。

治安警察部隊の皆として、時代背景とした各種のに対応する特殊技能部隊のにと、隊員の先頭に立つて一轍挑戦したい。

頼られる機動隊、存在感ある機動隊、愛される機動隊を現を目ざして。

今月の言葉

平成元年

小川 郁雄

昭和天皇は一月七日、八十七才の生涯を閉じられた。皇室ご一家のお悲しみもさることながら、國民一人一人にとどても誠に悲しい出来事であり、謹んで御慰めを慎む。世界を製つた大恐慌と共に幕を開けた昭和史は、統一軍國主義の台頭、極端な國家主義を背景とした太平洋戦争への突入、そして敗戦という國家の存立さえも危うくする危機的な状況へと進み、戦後の飢餓と窮乏、復興と独立、そしてその後の急速な経済成長と、その結果がもたらす新たな国際関係へと昭和史は静かに幕を閉じ、新天皇のご即位で元号も「平成」と改まり、国民の幸福と世界の平和を願つて平成元年はスタートした。

まだ平成元年は千支で言えど、「巳」、俗に言う「巳歳」に当たることから少々、「巳」の「巳」は「へみ」の略といわれているが、もともと動物の蛇とは無関係で

史上空前の警備体制



2月24日

大喪の礼

はげまし

本丸一七四日、新宿御苑で行なわれる「大喪の礼」では、かつてない大きな規模で弔問外交が繰り広げられる。

大喪の礼の日程が決定した直後より国交のある世界百数ヶ国から首脳級の参列の報が届いた。改めて世界における我が國の立ち場及び亡くなられた陛下の存在の大きさに胸打たれた者も多かったのではないかろうか。

警視庁内では、陛下が亡くなられた直後に、大堀太千男警視監監を本部長とする「最高警備本部」が設置され、当日に備えた戒戒体制に入った。

今回の警備は、昭和六十一年五月に東京で行なわれた先進国サミットを上回るVIP警備であり、警視庁だけでは手が足りず、他の都道府県から多数の機動隊員の応援を得て、行なわれている。警察の真価というよりも日本の真価を問われると言つてもよい今回の警備——都内にテロやゲリラの浸入

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 實
TEL 03(739)0590
講読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には講読料を含む)



1月22日から3日間行なわれた「賓宮(ひんきゅう)の礼」
拝礼者は合わせて33万9100人を上回った。



を一切遮断するために、東京周辺並びに都心的主要幹線道路各所に目を光らせた機動隊員の姿を沢山見かける。深夜、雨の中、厳寒をいとわず警備する隊員の姿を見て、今回の国家的大行事が平穏無事に挙行され、VIPが無事に帰国される事を願うばかりである。

そこで、この「はげまし」が皆様の手許にとどく頃は、機動隊員の皆様は「大喪の儀」の警備でたくたになる程お疲れのことと思います。本当に御苦労様でござります。

我が國も經濟大国になり、国際的にも地位が高くなればなる程、諸外国との交流も多くなり、すべての治安もまた大規模になり皆様の勤務も激務にならざれると思います。

私も機動隊員等を励ます会理事長をおおせつかり、未だ何のお役に立つておりますが、昭和六十一年に警察庁のご推舉に依りはからずも藍綬褒章を



昭和天皇を悼んで

社団法人 機動隊員等を励ます会
理事長 鈴木 實

去る一月七日、昭和天皇は八十七才のご生涯を静かに閉じられました。が、在りし日の陛下のご慈愛に満ちた笑顔が今改めて想起され、惜別の念を禁じ得ません。

おそらくこの「はげまし」が皆様の手許にとどく頃は、機動隊員の皆様は「大喪の儀」の警備でたくたになる程お疲れのことと思います。本当に御苦労様でござります。

我が國も經濟大国になり、国際的にも地位が高くなればなる程、諸外国との交流も多くなり、すべての治安もまた大規模になり皆様の勤務も激務にならざれると思います。

私も機動隊員等を励ます会理事長をおおせつかり、未だ何のお役に立つておりますが、昭和六十一年に警察庁のご推舉に依りはからずも藍綬褒章を

機動隊員等を励ます会々員と共に、謹んで哀悼の意を表します。

名譽理事長

大内俊司

れているものをいくつかあげてみると、「鬼が出るか蛇が出るか」「蛇が出そうで蚊も出ぬ」蛇の道は「ひ」蛇曲り曲りて我身曲りたりと思わず「蛇に見込まれた蛇」蔽をつけついで蛇を出すなどがある。その意味については諺集などにより各自で確かめただく面白いかと存じます。

昭和から平成となつた元号の起源も史記や書経の中から選ばれたと聞いておりますが、これはあくまでもこれから将米に向かっての願いであつて、元号が改まつたからといってすぐに世の中がわかるものではなく、元号と世の中が必ずしも一致するものとは思われず、機動隊員等の皆様方が置かれての環境は依然として厳しい状況にあります。

これまでの十二支と少々事情が違つていて、單に巳年に限らず、蛇は世界各原始民族によつて崇拝され、縁起のいいものとされることがあります。また蛇には「巳」といまつてゐるが、もともと動物の蛇とは無関係で

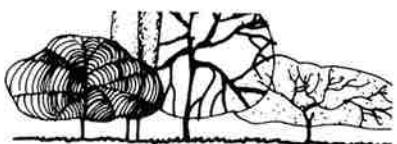
定されている昭和天皇「大喪の礼」に参列のため、米國大領夫妻をはじめ世界各国約百三十ヶ国から元首級要人の来日が予定されており、去る昭和六十一年に開催された東京サミットの警備で上回る三万人以上の警察官を動員する空前の警備態勢に入れる予定であるとか、いずれにしてもその最前線には機動隊員等の皆様方が、この警備に當たられる事となるこの厳しい情勢の中、いかなる事態にも迅速かつ的確に対応出来るよう日夜研鑽を積んだ、世界に誇る治安官日本の方全の警備を發揮され、一日も早く世界が「内平らかにして外成る

「地平らかにして天成る」ことを心から願うものであります。



足音

～昭和天皇追悼～ 天皇陛下と私の思い出



警視庁第一機動隊
安井知則



私は昨年八月十五日、日本武道館で行われた全国戦没者追悼式典に儀仗隊員として式典最前列において警備に従事した。儀仗隊員の任務は、厳肅な式典の中で天皇陛下の最直近で陛下をお護りするなど警衛警護警備の最後の砦である。その儀仗隊の任務に就くと、儀仗隊員はまことに天皇陛下の最直近で陛下をお護りするがからも、かつ突発時に備えていつでも対処しなければならないという重責から、緊張の連続であった。

正午の時報の前に式場入りされた天皇陛下は、私の立っている真後ろをゆづく歩歩かを踏みしめるような足取りを感じた。天皇陛下が式場にて追悼を始められると、参列している遺族関係者がハンカチを手にし、涙を流しながら合掌してい

るのを見て、私自身目がしらが熱くなるのを感じた。また、このような重要警備で、かつ天皇陛下の最直近で勤務できたことを誇りに思つた。今思えば、天皇陛下は病に冒されながらも、戦没者への哀悼と遺族を慰めたいという気持から式場に上られたのだと思う。

私は、天皇陛下が戦没者やその遺族を思われての足音が今でも脳裏から離れず、昨日のことのように思い出される。今は昭和天皇を偲びつつ、東京の治安を極左暴力集団等の不法行為から護るべく決意を新たにして頑張る覚悟である。

昭和天皇は、本当に偉い人だと思った。昭和天皇が、東京の治安を極左暴力集団等の不法行為から護るべく決意を新たにして頑張る覚悟である。

大島警備の思い出

警視庁第七機動隊 秋野勝孝



陛下を私が身近に感じたのは、陛下が三原山噴火に伴い被災地見舞のため伊豆大島を行幸された時でした。私は以前九機隊員として三宅島で陛下の警衛に従事したことがあり、その時は沿道警戒として、この大島警備に就くことができました。心は喜びでいっぱいでした。

大島での私の任務は観光ホテルと町役場での報道陣対策が主なもので、その役割は極めて大きいと自分なりに認識していました。当日、朝方雨が降りましたがその後天気は回復し、その青空の中を数歩歩かれて式場へと進まれた。静まりかえった式場内には天皇陛下の足音だけが「コツコツ」と鳴り響いていた。一步一歩何かを踏みしめるような足取りを感じると、参列している遺族関係者がハンカチを手にし、涙を流しながら合掌してい

「昭和」が終わった。昭和六十四年一月七日、年頭部隊出動訓練中である。昨秋昭和天皇陛下の御不列後、御平癒を願う数百万人の記帳の列が続き、自粛ムードも広がり、その様々の波紋は改めて陛下の存在の大きさを物語るものであつた。

しかし国民の願いもむなしく、午前六時三十三分崩御され、私は寂しさの中の空虚感とでもいうような複雑な気持ちであった。マスコミ等で知り得た昭和天皇はまさに万人の父親像であり、心のこもつた御言葉は多くの国民に希望を与えた。尊敬の念を抱かせてきたからであろう。

この日、多くの国民はそれぞれの昭和史を顧みたのではなかろうか。私は警察官を拝命して二十年、一度だけ陛下の間近で警衛警備に従事したことがある。それは昭和五十六年三月、國賓タンザニア国ニエレ大統領来日警備に伴い、迎賓館における宿舎警護の任務に就いた時のことである。陛下のお身体だけにスポーツが当たつているように見え、まるで後

いてこれらたのですが、同所で警戒していくところです。おこうと思う。そして昭和天皇陛下に喪とがで、体がブルブルと震えてどうしたことを誇りに思つた。今思えば、天皇陛下は病になくなつたのを覚えていて、昭和天皇は実に穏やかな笑顔で説明を聞かれ、御帰りになられました。その間わずか五分位の出来事でしたが、私はその時の感動を今でもしっかりと覚えています。

陛下は実に穏やかな笑顔で説明を聞かれ、御帰りになられました。その間わずか五分位の出来事でしたが、私はその時の感動を今でもしっかりと覚えています。

万人の父親像

警視庁特科車輛隊 宿里一義



かいじ国体は、私にとって初めての国体警備でありました。任務として警衛・検索等に従事しました。静岡県には伊豆下田に「須崎御用邸」があり、昭和天皇が好まれていた場所の一つです。それは昭和天皇が「科学者天皇」と言われる程生物学に熱心で、須崎はその研究の場に適していたということだそうです。我々は御用邸に行幸警備される都度、万全の警衛警備を実施してきましたが、かいじ国体の時のように直近で陛下のお姿を拝見し、お声を聞きながら活動したのは初めてでした。私服警戒員として大会開会式当日、ロイヤルボックス周辺の警戒任務に就きました。その時の緊張感は忘れることがなく今でも鮮明に覚えています。昭和天皇は、国体開会式会場を埋めつくした観衆の前に一步一歩ゆづくりとした足取りでロイヤルボックスに進まれ、静かな会場に向け、特徴のあるお声で開会宣言をなされました。また右手を上げる独特のお姿で観衆に応えられるとともに、セレモニー・入場行進では身を乗り出されて拍手をされておりました。私は陛下が御乗車されるまでの間、時間の経過がわからぬ程緊張が続き、会場の人が動くたびに目と身体が反射的に動き続けたのを覚えています。陛下が会場を後にすれぱなりに歩み、秋の陽は西に傾き、葡萄色に飾られた会場にうつすら差し込んでおり、この時緊張から解放されると同時に任務完遂の安堵感にひたりました。そして象徴としての天皇が身近に感じた時でもありました。

昭和六十四年一月七日、元号は「平成」に改められ、「昭和」は天皇崩御とともに退場しました。しかし元号、天皇制をめぐつて論議は続き、更に極左暴力集団は天皇制打倒のため、手段を選ばない「テロ・ゲリラ」を続けていた今日、日本の治安を守る我々機動隊は、更に結束を強めにして不法集団の根絶を目指さなければならぬと決意を新たにしています。

葡萄色の思い出

関東管区機動隊第三大隊 河合竜司



静岡県警察機動隊 同

昭和四十七年四月二十日、清新い須崎御用邸に昭和天皇、皇后両陛下が第一歩をしました。須崎御用邸は常春の地、南伊豆下田市の須崎半島に「海と緑の御用邸」として新設されて以来、昭和六十三年六月の行幸警備まで五十三回の御成りを数え、通算御滞在日数は四百六十余日にも及びました。

我が静岡県警察機動隊は、両陛下御滞在時の御用邸の護りという誇り高い任務に機動隊の名譽と威信をかけ、全力を尽くしてその任務を遂行してまいりました。昭和六十三年六月の行幸警備時は御用邸内中門口の直近に行幸警備時には御用邸内中門口の直近にて両陛下をお出迎え、お見送りできることなく、この天皇は、国体開会式会場を埋めつくした観衆の前に一步一歩ゆづくりとした足取りでロイヤルボックスに進まれ、静かな会場に向け、特徴のあるお声で開会宣言をなされました。また右手を上げる独特のお姿で観衆に応えられるとともに、セレモニー・入場行進では身を乗り出されて拍手をされておりました。私は陛下が御乗車されるまでの間、時間の経過がわからぬ程緊張が続き、会場の人が動くたびに目と身体が反射的に動き続けたのを覚えています。陛下が会場を後にすれぱなりに歩み、秋の陽は西に傾き、葡萄色に飾られた会場にうつすら差し込んでおり、この時緊張から解放されると同時に任務完遂の安堵感にひたりました。そして象徴としての天皇が身近に感じた時でもありました。

陛下は、特に冬期における御静養の地として気候温暖な須崎を好まれ、須崎の海と緑に親しまれたほか、堂ヶ島洋らんセンターや、熱川バナナ、ワニ園、天城昭和の森など伊豆地方の各所を御視察されました。御滞在中は邸内の御散策を日課とされておりましたが、御滞在中に必ず一度は警衛隊舎前に御成りになり、清楚な白い花「デノルホセカ」を御覧になりました。御用邸内のどこにどのようない植物があり、その花がいつも咲くかを承知されているなど一つ一つの植物にまで心を配られた陛下の温かいお人柄を知ること

ができました。私たち隊員も御用邸の警戒にあたり、足元に注意し草花を踏みつけないように歩くことが習慣になるなどありました。

十六年間の須崎御用邸の護りを通じ、私達隊員の脳裏には陛下の慈愛に満ちたお姿や人柄が焼きついており、今後とも胸の中にいつまでも生き続けることと思います。静岡県警察機動隊員一同、昭和天皇のご冥福をお祈り申し上げるとともに新しい「平成」の御代の御繁栄をお祈りしたいと思います。

かいじ 国体警備に想う

山梨県警察機動隊 河野修二

第四十一回国民体育大会、甲斐路国体は山梨県全体が一丸となり、一年以上も前から準備と努力を重ね、警察においても國体に伴う警衛について早くから計画と準備を進め、その中で私は山梨県機動隊員として警衛に従事することとなつた。私達の任務は、活発化する極左暴力集団のテロ、ゲリラに対し、特にロケット砲による攻撃に對処するため、お泊所行事先などを中心に警戒、検索することであった。具体的には出動服に編上靴、無線機に双眼鏡というスタイルでオートバイにまたがり、自ら「警衛黒バイ隊」と称し、お列一行からは当然のこと、側近、警衛員の目に触れることもなく、お泊所周辺の山中、河川などの徹底した検索を実施していたのである。市内を走る時など恥ずかしい気がしたものがあつたが、二輪の行けない場所は、歩いて行つても確認するなど、隊員各々が自分の分担から、また県機の分担区域の中でゲリラ発生などあつてはならないという信念で、真剣に二輪のハンドルを握つていたことを憶えている。

自動車お列など、双眼鏡を通してしか見できない我々であつたが、その中で今でも印象に残つてることが一つだけである。レンズの中の小瀬が一瞬揺れたのである。国体開会式場である小瀬陸上競技場を警戒中、天皇陛下がロイヤルボックスにお着きになり開会式が開始された時、状況であるが、数キロ離れた丘の上にも双眼鏡のレンズを通して、開会式場の山梨県民の興奮と喜びの声が聞こえたのである。

小瀬スポーツ公園が一望できる小高い丘の上で、我々警衛遊動隊の面々は顔を見合わせて笑つた。「やつた。これで半分は成功だ。最後まで自分の任務を全うするぞ。」皆、こんなふうに思つたのではないだろうか。

そして國体、警衛は大成功に終わつたのである。その中で、我々警衛遊動隊も充分にその任務を果たすことができたと思っている。

斐あつて、六日間を無事終えることができた。

考えてみれば、脇道から脇道を走り、目立つことのない、また陛下のお姿を目として見見することもなく任務を終えました。が、陛下の「晴れわたる秋の広

場に人びとのよろこびみつる甲斐路国体」の歌を読むとき、本警衛に従事できた誇りとして私の警察人生に思い出深い一頁として残るであろう。

私が警衛警備に従事し、最も強く感じたことは、沿道を埋めつくした人々が日本の丸の旗をうち振り歓迎している姿を目のあたりにし、陛下に対する国民の尊

敬の深さに驚きを覚えたことです。

幸いに警衛警備の任務は、佐賀県警察

の総合力を發揮した成果とともに各県警察の応援を得ながら無事終了することができましたが、ご高齢にもかかわらず佐賀においていただいた陛下の警備に従事

できたことを嬉しく思いました。

「激動の昭和」と呼ばれた時代は終わりをつげましたが、警察の使命はいささかも変わることはないので、更に訓練を重ね精強な部隊の確立をめざさなければならぬと思います。

我が警察人生の一頁 井上久

山梨県警察機動隊



佐賀県警察機動隊 巡査部長稻富政博

第三十八回全国植樹祭は昭和六十二年五月、昭和天皇をお迎えして、「葉隠」の地として知られる佐賀県嬉野町で開催されました。昭和六十二年は、くしくも沖縄海邦国体を控え、極左暴力集団のテロ、ゲリラ事案の活発化が懸念されるなど極めて厳しい治安情勢でありました。その

「葉隠」の地で 佐賀県警察機動隊 巡査部長稻富政博

我が山梨県にとって、当世紀に一度の大イベントである第四十一回国民体育大会は、「ふれあいの輪をひろげよう」をスローガンに、昭和六十二年に開催されました。

警察の立場から、この國体に際し最も注視される事は、天皇陛下および皇太子、同妃両殿下の行幸に対する警衛であり、中でも同年十月十二日から十七日の六日間において行われた秋季大会に当たつては、天皇陛下行幸のため私個人としても最も緊張した警衛でありました。

本警衛に当たり、我々機動隊員はそれぞれ任務を附与された。その中で私に与えられた任務は、陛下御通過路周辺の検索及び警戒に当たり、陛下御滞在中の安全を確保することであった。自動二輪車にまたがり、出勤姿の隊員が陛下の御

通りを走る道路周辺及び行き先地周辺を通過される道路周辺及び行き先地周辺を

隈なく検索した。そして密なる検索の甲斐なく、

☆ 好きな作家 安西 篤子

☆ 趣味 手芸

☆ 自己紹介 城東警察署 第二機動隊所属

☆ 警視庁第二機動隊入隊日 昭和63年11月1日

☆ 出身地 埼玉県

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡査村尾彰子 (22歳)

☆ 今までの機動隊における印象に残つた警備出動

☆ 好きな言葉 「一意専心」

☆ 自己紹介 巡

今月の言葉

先日、知人の葬儀で上京の折、久しう振りに逢う事が出来た学生時代の野球部の友人から、この度の大喪の礼の警備の指揮をとる、警視庁警備部長の井上幸彦さんが同じ大学の同期生だと聞かされました。徒に年齢を重ねて来た我が身を振り返り敬服の至りであります。が、来る二月二十四日の大喪の礼に想いを馳せるとき、全国津々浦々から参集される機動隊員の皆様のご苦労ご活躍に深く感謝申し上げると同時に何事も無く式典が遂行されます事を祈り、前述の知人の葬儀というのを急逝された、三井物産の若王子札幌支店長のことです。ご承知の如く馬ニアにおいて、四ヶ月に及ぶ監禁生活を強いられたわけですが持ち前の強靭な精神力で克服され、昨年の六月、この札幌に赴任、極めて意欲的な活躍

先日、知人の葬儀で上京の折、久しう振りに逢う事が出来た学生時代の野球部の友人から、この度の大喪の礼の警備の指揮をとる、警視庁警備部長の井上幸彦さんが同じ大学の同期生だと聞かされました。徒に年齢を重ねて来た我が身を振り返り敬服の至りであります。が、来る二月二十四日の大喪の礼に想いを馳せるとき、全国津々浦々から参集される機動隊員の皆様のご苦労ご活躍に深く感謝申し上げると同時に何事も無く式典が遂行されます事を祈り、前述の知人の葬儀というのを急逝された、三井物産の若王子札幌支店長のことです。ご承知の如く馬ニアにおいて、四ヶ月に及ぶ監禁生活を強いられたわけですが持ち前の強靭な精神力で克服され、昨年の六月、この札幌に赴任、極めて意欲的な活躍

健康のありがたさ

あります。若さ溢れる隊員の皆様方に健康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

康第一だからにはとどきには健

を続けていたのですが、その後手術を受けられ順調に回復されているとお聞きしていた矢先でした。実は私自身も一年前この札幌に転勤することが決まった直後に胃に異常が発見され大半を切除するという手術を受け赴任を

明け、時折雪もまじるという寒さの中

そして当日、東京地方は冷たい雨で

新宿御苑に向って、轎車を先導する

史上空前の警備完遂

生かされた訓練
治安維持に新たな自信!

新宿御苑に向って、轎車を先導する

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 實
TEL 03(739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)

過激派ゲリラ封じ込む
VIP死守!

の暖冬と言われば、梅の蕾もふくらみかけた報を見た矢先の一月二十四日、朝から冷たい雨の降る中、国家行事である「大喪の禮」がいかに行なわれた。元首級五十五、正旗士十二、副官連隊百六十四ヶ国、ECを含め二十八国際組織四十四个の代表團が、大蔵・閣僚級四十四个の儀をもつて、この日の儀式は、静かに幕を閉じたが、重要警備は、大統領級二十六個の儀のうち十七個が総統外交と並んで統合した。多くのが帰路での途に、今こそ心から激励の言葉を贈りたい。絶対的な完全警備の重責を全機動隊員に、
張の連続の日々が続いた。緊迫と困惑の思いが重なる中で、断固として治安を死守する警備陣の数は3万2千人。警視庁の応援要請にこたえ、全国各地より精銳部隊も出動し、万全体制を敷いた。

史上空前の大警備と言われ、毎日増す警備強化に、一般から過剰警備と若干の苦情も出なくなかったが、警視庁もサミット等の大規模な警備経験をいかし、夜間警備用の照明自家発電機の騒音防止策をたてる等、厳しさの中にも多くの配慮を見せていた。

そして当日、東京地方は冷たい雨で「大喪の禮」は、始まった。十三時間余に及ぶ一連の儀式は、皇居から最終八王子市武藏野陵まで、厳重な警備体制と交通規制により、葬列はスムーズに移動し、静かに終えることができた。



芝公園前、中核派デモ警備

右翼・左翼12人を逮捕

警察庁のまとめによると、「大喪の礼」当日過激派五千百九十人が全国二十六都道府県で反対集会やデモに参加し、軽犯罪法違反や公務執行妨害などの容疑で六件、十人が逮捕された。

こうした国家行事が行なわれる度に懸念されるのが過激派の動きである。一般市民の心をよそに、当日過激派のゲリラ行動と思われる爆発事故があった。葬列コースにある中央自動車道(調布市深大寺)下り車線のり面で、爆発物が爆発、のり面が崩れ土砂が車線の一部を覆った。幸い、葬列通過の28分前だった為、即ちに土砂の除去作業を行ない大事には至らなかつたが、もしも、最悪の事態を考えると同時に、ヒヤリとした出来事であった。今回は無事に乗り切ることができたが、やはり警備の重要さを再認識すると同時に、ヒヤリとした出来事であった。昭和天皇崩御後から、過激派は、活発なゲリラ闘争を開拓して実際には東郷神社爆破、小田急、JRの通信ケーブル切断など、すでにあちこちで事件を起こしており、今後の治安活動にも新たな課題を残すと共に、一部から過剰警備と云われながらも、こうした治安活動に重大さが改めて、多くの者に理解されたのではないだろうか。見えざる敵に全神経を集中し、不眠不休の状態が続いた今回の警備を終えた今、最高警備本部から、そして多くの隊員の方々の充実感もひとしおであろう。治安維持に、これがベストという基準は無く、それはその使命に携わる彼らひとりひとりの崇高な精神と行動の産物である。

今回の重大な責務を全うした隊員たちの心から芳いの言葉を贈ると共に、今後の活躍を期待したい。



冷雨の中を～皇居前

治安維持の重大さ――国民の意識高まる



昭和天皇を偲んで ～陛下と私の思い出～

昭和天皇が崩御され、二ヶ月半が矢のように過ぎ去った。今月も前号に引き続き、警衛警備にまつわる陛下の思い出を機動隊の皆さんに語っていただいた。



「歴史を守った誇り」

九州管区機動隊

末吉俊英

昭和が平成となつた一九八九年からも、「四月二九日」は、祝日として残されるという。祝日名は「みどりの日」、自然をこよなく愛された昭和天皇を偲ぶにふさわしい名称であると考える。私の陛下像は、活字や映像からイメージされたものであるが、ただ一度だけその御姿を身近に拝見する機会に巡り合つた。昭和六二年五月、佐賀県で開催された昭和天皇最後の行幸『第三回全国植樹祭』私が所属する管区機動隊佐世保小隊は、お召列車通過予定の線路に沿つた国道において特別検問隊として徹宵勤務に従事していた。私は当時、管区機動隊入隊後まだ二ヶ月余りで、しかも拝命以来初めての警衛警備出動ということも重なつて、文書通り緊張の連続であつたと記憶する。その緊張が最も高まつたのは、一夜明けて間もなく、お召列車の通過という時間になつた時であった。我が家はお召列車を遠望できる小高い丘の上で物陰に身を隠し、高所警戒・待機をしていました。何故だろう、心臓の鼓動が早くなる。皆、何時になく神妙で、口を開く者は誰もない。動いている物と、その時、菊の御紋が鮮やかに浮きあがつた列車が視界に飛び込んできた。列車の一両一両が、遠方より見つめる我々の前をスローモーションのように通過している。「何も起こらないでくらべ」真剣に祈つて自分の気付く。列車は無事我々の視界から去つた。安堵感で身体の力が抜け去つたようになる。時間にすれば僅か十秒足らずであつたと思うが、お召列車を拝見したくるように感じたのを昨日のことのよ

うに思い出す。元号は昭和から平成へと、昭和に終わりを告げたが、国民の昭和天皇に寄せてきた多くの思い出を考えてみるとやはり私はあの時本当に微力ながら歴史を守つたのだという気がする。

「みどりの日」

関東管区機動隊

鹿野竜一

本県には那須御用邸がある。昭和天皇は、毎年夏にこの地でご静養なされた。これに伴い、本県警察は警衛隊を編成するが、私も昨年の夏、初めてこの隊の一員として任務に就いた。私の任務は、陛下の御散策に際し、その御身辺の安全確保である。

ある晴れた日の午後、陛下が御散策に出られ、我々は早速その御身辺の警戒に当たつた。私は初めての任務で、緊張と不安が交錯した。陛下が近くまで来られるのが御声でわかる。張りのある御声である。緊張の一瞬であるがあぶとやぶ蚊がまとわりつく。身動きせず、じつと耐える。陛下が草花の一本一本に目を止められ、お付きの人には優しいことばをかけられている様子が伝わってくる。私は警衛隊の任務を通じ、陛下の優しいお姿に接する機会を得た。散策中、陛下は山道中央に咲くうす紫の「吊り鐘草」を間一髪のところ避けられたのである。そして、振り返るや、お付きの人にも注意を促されたのである。植物学者でもあられた陛下は、道端の草花にさえ目を止められ、まさに植物を愛された。

昭和から平成の時代へと変わったの

だが、我々に課せられた責任の重さを再確認する次第である。

「那須御用邸にて」

栃木県警察機動隊

関玉暉

昭和の天皇陛下には、毎年夏になると御静養のため皇后陛下と那須御用邸へ行幸され、御滞在中は植物の御研究などで広大な那須野が原へ御出掛けになられた。

私は昨年八月、那須警衛隊に派遣され、光榮にも隊長伝令兼遊動班員としての任務に就いた。遊動班は、陛下の植物御研究の目的地に先行して実地踏査を行い、陛下が御到着後はお目ざわりにならない場所に位置して警衛に当たる任務である。時には陛下の御声を耳にし、植物の御観察状況を身近なところで目にすることがあり、それ故に警衛員の一人となつた誇りと共に重責を感じるところである。

那須野が原は美しい自然環境に恵まれ、多くの植物が繁殖し、珍しい植物も多い。陛下には一日おきの割合で植物研究に御出掛けになられた。陛下の服装は極めて質素で、いつも愛用の帽子を着用される。陛下は、決して植物を足で踏みつけたり折り曲げるようなことはせず、そつと触れて丁寧に御観察になられるのである。そして陛下は学者や宮内庁関係者の植物に関する説明に対しても誠意を持って応じられ、「あ、そう」とゆきり感情を込めて答えるのである。陛下の真摯で仁愛に満ちた心優しい御人柄をそこに拝見し、いつも深く感激してしまうのである。何といっても強く心を打たれるのは、御用邸へ御戻りになられた時、我々警衛員に対して「警備の任務、御苦勞様」と言わんばかりに、目と御身體で御表情なされるのである。その時ほど深く感激することはなく、厳しい任務の疲労も瞬時に吹き飛んでしまった。

昭和から平成の時代へと変わったのもうのである。清廉にして仁愛に満ち溢れた昭和天皇の崩御の報に接した時、私は植物を御観察される在りし日の御姿が頭の中を去来し、深い悲しみに陥つた。本当に残念でならない。今はただ、御冥福をお祈りするばかりである。

「昭和天皇の願い」

熊本県警察機動隊

田中哲也

昭和六十一年五月十日、昭和天皇は、

「第三十六回全国植樹祭」御臨席のため本県に行幸された。昭和四十一年以来、実に十九年ぶりの、県民にとって

待望久しかつた行幸であった。小雨に煙る雲間からの特別機が、熊本市上空に姿を現した瞬間、私は熊本県警察警衛部隊の一員としてかつてない緊張感にとらわれた。「皇室と県民の親和を妨げず、御身辺の安全を確保する」という重要な任務を全うするため、厳しい訓練を繰り返した日々が思ひ返される。特に「警衛に九十九点はない。百点か零点だ。」と強い口調で訓示された隊長の厳しい顔が強烈に脳裏に焼きつき、緊張のあまり私の動作もぎこちないようと思える程であった。昭和天皇の県内各地での御姿は、テレビ、新聞等で大きく報じられ、特に阿蘇の大それなを心ゆくまで慈しまれ、県民の歓迎に笑顔で手を振つて応えられる御姿に言ひようのない感銘を受けたが、この光景こそが我々の努力の結果であると思う。我々の流す汗は国民の目には映らないだろう。しかし、それが最大的の努力だ。私は最大の努力、影の努力を惜しまないという、警察の伝統的精神を誇りに思つてゐる。

今は亡き昭和天皇が、心から願つておられた国民の幸福のため、我々は今まで以上に社会平和のための努力を続けていかなければ、と決意を新たにしている。

空前の大警備・警衛の要・機動隊

▲昭和天皇に
最後のお別れ



▲儀仗隊の行進も重々しく



▲最後のお別れ



▲空港警備も厳重に



▲新宿・葬場殿 一般参観の警備



▲武藏陵に入る轎車

以上の皆様から多額の御寄付がありました。
厚くお礼申し上げます。

お知らせ



(敬称略)

北海道支部・東北支部・北陸支部
名古屋支部・大阪支部・中国支部
九州支部・千葉支部
大内俊司・佐々木喜朗
東銅業(株)・五十鈴鋼材(株)・岡部(株)
協材興業(株)・栗田工業(株)・昭和振興(株)
スカイコート(株)・大洋(株)・大洋製鋼(株)
東海レバラー鋼業(株)・村山鋼材(株)
ほか匿名2社

(会社名五十音順)

飯田正雄
自見産業(株)

婦警特機をよろしく! ~婦人警察官特別機動隊~



警視庁第三機動隊所属

原宿警察署
交通執行係

巡回 小川 照代
(24歳)

☆出身地
東京都

☆警視庁第三機動隊入隊日
昭和63年11月1日
(婦人警察官特別機動隊第12期生)

☆趣味
編物
☆特技

☆婦人警察官特別機動隊は優しい先輩
方ばかりで、いつも楽しく勤務しています。
また、私は行動が鈍い方なので
皆さんに迷惑をかけないようテキパキ
と行動し、桜花のように美しく、さわ
やかな隊員になるよう頑張りたいと思
います。どうぞよろしくお願いします。

☆自己紹介
平成元年1月22日～24日の間の殯宮
一般拝礼に伴う警備です。

☆習い事
英会話・乗馬
☆好きな作家
渡辺淳一
☆好きな言葉
「優しさ」

テニス

英会話・乗馬
渡辺淳一
☆好きな言葉
「優しさ」

重大警備
御苦労様でした

高周波熱鍊(株)
山陽特殊製鋼(株)
株三榮商會
次郎丸嘉介
愛知産業(株)
鈴木 實
東京テレメッセージ(株)
小川運輸(株)
姫田清美
国見山(株)
橋本尚吾
豊田通商(株)
宮崎精鋼(株)
田島鋼材(株)
村上益一
金森藤平商事(株)

読者の広場



昭和天皇を偲んで

松本三良

昭和天皇の崩御に衷心より、哀悼の意を表します。

昨年の九月十九日、昭和天皇のご容体が急変、大量に吐血されて以来、関心は陛下の御尊体のご快癒をお祈りすることに集中することとなつた。陛下のご鬱病生活中の国民は自肅ムードに徹し、年末の「クリスマス」を迎えるも各商店の飾り付けもなく、音楽も流されていなかつた。正月の門松も私の眼に入るものはなかつたのである。

陛下の全身衰弱が進み輸液療法が続く中で、私は、迎える新年に当つて例年実施している年末、年始の諸行事をどのようにすべきか、迷ついたのであつたが、その判断材料となく、機動隊にお尋ねしたところ、大正天皇崩御に当つて、當時の新聞に掲載された諸行事の記事をコピーして頂いたので、これ等の資料によつて判断をし、自らを律することができたのであつた。

日本史でも類をみなかつた波乱と激動の昭和が逝くに当つて、昭和天皇の御心に最も凝着したと思われることは、昭和二十年八月の大東亜戦争の終結ではなかつたかと推察申し上げる。

陛下は、昭和二十年九月二十七日連合国最高司令官マッカーサー元帥を米大使館にご訪問された最初の会見で、「私の地位などは考慮される必要はない。思うよう自由にやつてください。日本のあらゆる軍人、政治家の責任を引き受けるつ

もりです」と語られたのである。マッカーサーは痛く感動し、翌年の一月には、

「天皇は、全日本人を統一する象徴である。天皇を滅ぼせば、日本は崩壊するだろ。事実、すべての日本人は、国家の元首として天皇を崇拝しており、正しいか否かは別として、ポツダム協定は彼を日本に送っている。更に、マッカーサーは私見として、天皇裁判に対しても、金

日本人の抵抗を予想し、武装解除されているとはい、政府機関の崩壊、行政活動の停止、地下活動による混乱、山岳部周辺地域のゲリラ戦による秩序不安などを予想した。百万の占領軍を投入したとしても長年月にわたることになり、大きな占領問題を提起することになる。……

という意味の見解も打電しており、天皇を裁くことを避けたいと言つてゐるのである。しかしながら、連合国間には天皇の責任を問えという声があがつてゐる。昭和二十一年新春の年頭詔書で、天皇の神格化を否定し、人間宣言をされた陛下は、敗戦に痛めつけられる危険がある励まし、かつは慰めるという御趣旨で、同年二月に神奈川県を視察され、以後、北海道に至るまで巡幸が続いたのである。戦災者から投石されたりする危険があるのでないか、というGHQの心配も全く無用のものであつた。

陛下を迎える国民の純真で、ひたむきさに大歓迎は、「天皇の責任を問う」とすら立場にあつた連合国との声を慎重ならしくめぐ上で、大きな役割を果たしたものと

考へる。

日本が戦争に敗れたことにより、失うべき日本の領土を守つたのが、昭和天皇であり、そして戦後の日本の見事な復興の礎となられたのも昭和天皇である。

昭和の元号は、世界平和と君民一致の大義を現したものであつたが、不幸にして、昭和は戦争という重荷を背負うて歩いた時代であった。新しい「平成」の年を迎えて、眞に世界平和と繁栄の確立に努力することが、昭和天皇に報いること

であると思う。

私は二月十五日に本稿を書いているが、「はげまし」に掲載される頃には、昭和天皇の「大喪の礼」も無事に終つてゐる。世界の行事の中でも最大のものと思う。「大喪の礼」は国家行事としての儀式であり、米国新大統領はじめ百六十ヶ国を超える各国からの参列があると聞いてゐる。世界の行事の中でも最大のものであり、日本史上も、かつて経験のない大規模なものであることを思うと、機動隊並びに警察官の警備は大変な仕事である。全国民が協力して、平穏無事に終了することを願うものである。

若者たちの金銭感覚

南保夫

この世の中わからぬことだけ、を痛感する今日このごろだが、最近の経済環境もそのひとつ。早い話、円高不況で日本経済が氣息えんえんとしていたころに、わずか一、二年後には逆に円高メリットが主因とされる今のは好況を、当時の誰が予想し得ただろう。現にさる高名な経済評論家が、対ドル一三〇円を切るようなら戦後最大の不況が来るだろう、と予言していたのも耳新しい。オイルショックのあとさきもそうだが、とにかく経済見通しといふものは、ほとんどの場合、方程式は皆無に近く、複雑怪奇で曰く不可解としか言いようがない。とにかく一年続きの実質五パーセントの成長率だそうである。国民一人当たりのGDPだけについていえば、ついに文字通り、世界のナンバーワン経済大国に日本はなつたのである。対外資産や債権が何兆円あるか知らないが、一方で国家予算の倍近くにもなる五百兆円からの国債を乱発したことによる国内の大借金を抱えている日本が、である。まあ、それはそれで見解の相違ということにしよう。

わからぬのは国は大金持ちだから國民も大金持ちだとする一部他国の日本観と国内マスクなど決めてつけようであ

ないことは、我々日本人が一番よく知っている。岩波ホールの総支配人、高野悦子さんは「住居の狭さ、食事のまざさと高さ、そんな日本での生活を思うと日本人は世界一の金持ち国だと言われていても実感がわからない。いつた誰が金持ちな

だらうか。ともかく一般大衆でないことは確かである」と新聞紙上で断言されている。先日あるTV局のアンケートを見たが、自分が本当に豊かだと思つてゐる人は全体の二〇パーセント強に過ぎなかつた。日本人の大半が中流意識を持っているもの、大多数の国民意識が金

持つてゐることを否定していることは、まぎれもない事実なのである。だいたい

ジャーナリズムの騒ぎようは異常であり、センセーションナリズムといわれても仕方あるまい。土地の高騰が都市圈からどんどん周辺部に移行しているとか、近くダウ平均株価が四万円超となるとか、はては海外旅行ブーム、高級品指向だ、ニューリッチ族だとか、いわゆる金余り現象を報ずるにしては、冷静な事実報道から逸脱した、いささか度を越したアオリ方のような気がしてならないのである。

こうしたアブノーマルな状況下において最も懸念されるのは、日本の未来を担う若者たちの平常な金銭感覚がまったく狂つてしまふことだ。隣の芝生が青く見えたり、すぐ不和雷同したがるのは日本人のお家云々だが、それにしても確かにわれわれの周辺には、地に足がついていない儲け話が多すぎる。このような財テクブームに並み以上に関心を持つ若者たちが、近ごろ目立つて急増しているよう

思つるのは偏見だろうか。

そういうえば先日、農林中金研究センターがこんな調査結果を出してゐた。金融機関で毎日大金を動かしている若いデイラー達が、私生活の中でどんな金銭感覚を持っているかといふアンケート結果である。それによると自分の資産を運用する場合、多少リスクがあつても高収益期待できる「ハイリスク・ハイリターン型」が五五パーセントと多数を占め、安全重視の「ローリスク・ローリターン

型」の二九パーセントを断然リード。ま

た、消費重視のエンジヨイライフ型の、ソーシャル物語のいわゆる「キリギリス派」が六二パーセントと、貯蓄重視の「アリ派」の三四パーセントをこれまた大幅に上回っている。すなわち、この統計に関

する限り、彼等の金銭感覚は「脅越しのゼニは持たぬ」タイプが主流を占めたといつてもよい。注意したいのは、仕事柄

彼等の金銭感覚は別で一般的ではない、とタカをくくることであろう。おそらく多少の差異はあつたとしても、もはや

現代の若者たちの毒された金銭感覚は、こくひと握りの心あるグループを除いては大同小異で、いずれにしてもアンバラансな思考が基盤となつてゐることに変わりはない。もし、ひとたび彼等に金銭的余裕を持たせれば、大多数がキリギリス派に片寄つてゆくことだろう。確かに現代の消費者の行動様式は、勤勉貯蓄の「お

じん」の時代が終わつて、国民皆ゆとりをめざす新しいライフスタイルが浸透しつつある。とはいえ、実質的な経済的ゆとりを持たぬ若者たちがエンジヨイライフを求めて暴走する所だらどうなるか。

もちろん、この問題の帰するところは、周囲の迷惑をもかれりみず、一獲千金を狙つてしゆん動する一部の金の亡者どもをめざす新しいライフスタイルが浸透しつつある。とはいへ、実質的な経済的ゆとりを持たぬ若者たちがエンジヨイライフを求めて暴走する所だらどうなるか。もちろん、この問題の帰するところは、周囲の迷惑をもかれりみず、一獲千金を狙つてしゆん動する一部の金の亡者どもをめざす新しいライフスタイルが浸透しつつある。とはいへ、実質的な経済的ゆとりを持たぬ若者たちがエンジヨイライフを求めて暴走する所だらどうなるか。

感覚の図式が、これから日本の日本経済発展に大きな歪みとなつて支払われるに違ひない。さわめてラディカルな発言を許していただけたなら、多くの若者たちが信奉している。いうなれば浮薄な金銭感覚の図式が、これが日本の日本経済発展途上の巨大なガン細胞になる可能性は大きい。悪性病原菌は初期のうちに叩くにこしたことはない。このことは当然、我々自身の反省と自戒にもかかわつてくる。問題ではあるが、どうしたらこのような憂慮すべきトレンドの軌道修正が図れる

か、平成時代幕開けの課題のひとつとし



今月の言葉

私は、先般も仕事を兼ねてヨーロッパからアメリカを廻つて来ました。毎度のことながら海外を廻つてみて、日本の企業、日本人の人々があらゆる国で、その風土、伝統にとけあい、日夜を惜しまず努力し、活躍している姿に強く胸うたれた次第です。このように海外との根はますます低くなり、世界が身近かになつていくことはいうまでもありませんが、とくに日本に課せられた発展途上国への援助は勿論のこと、その国々には心から敬意を表し、伝統や文化、風俗を尊重し、少なくともそれらの國々の国民的感情に逆らうようなことは許されないことであり、共存共栄をモットーと

ひろがる輪と和

北海道支部総会 信頼と激励 暖かい心の交流



第12回を迎えた北海道支部総会

はげまし

発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 實
TEL 03(739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会員の中には購読料を含む)

「北の防人」機動隊員とのかけ橋

今年も固く結ばれる

前日より積もった雪の残つたまだ春遠い北の都札幌で、平成元年初の支部総会である「機動隊員等を励ます会」

北海道支部総会及び懇親会が三月八日、札幌パークホテルで機動隊員多数を招いて開催された。

外気の冷たさを忘れるほど、若く精悍な機動隊員と会員の熱氣で溢れた会場は、先般の重大警備「大喪の礼」の労いとますますの隊員の活躍を励ます交流が行われ盛会裡に終わった。

会はまず隊員らが会員の拍手に迎えられて整然と入場。励ます会・小原信二北海道支部代表世話人の開会の挨拶で始まった。次に鈴木弘泰・北海道知事(代理)、勝山義孝・札幌市長代理が来賓代表として祝辞述べ、仲村規雄・北海道警察本部長と鈴木實・励ます会理事長がそれぞれ挨拶した。麻生博・励ます会本部常任理事の音頭で乾杯の後懇親会となり、会は熱気につづられた。余興では、恒例となつた歌謡ショー。若い隊員と励ます会各員が交互に歌を披露した。

山洞哲也・北海道警察機動隊長の謝

とかたづけることなく、外遊する人が世界から何かを学び取ろうとする姿勢の現れであると信じたいと思います。多くの日本人の向上心に燃えるエネルギーから得る知識がある限り、海外と

建設が期待されており、超近代的な国に発展すると想像されています。

三唱で幕を閉じた。
こうした会員と機動隊員との交流の場で毎回同様にして聞かれるのが、隊員らの礼儀正しさと明るさである。極寒の地での厳しい訓練、そして治安の先兵として道民の安全を守りながら真摯な姿勢で常に勤務している彼らもこの日ばかりは、理解ある会員らに包まれ、心なんだひとときを過ごした。

大喪の礼において、警視庁の要請で放水車や投光車などと共に東京へ応援にかけつけた北海道警察本部の活躍ぶりに、改めて「御苦労さま」の声をかける会員らと「ありがとうございます」と応える機動隊員らの姿を見て、励ます会と機動隊員とのかけ橋の充実を確



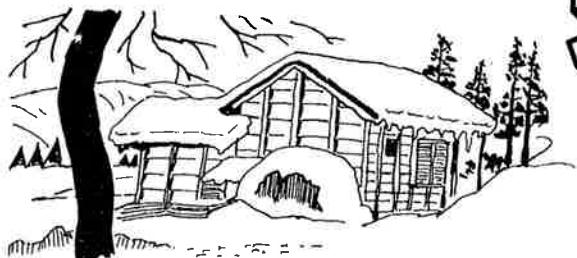
の交流によって日本の発展はどまることがないでしょう。現在日本は経済発展による国内活性化のもと二十一世紀の将来に向かつた新しい文化を創造し、これを基盤として國の再開発、新しい都市づくり、

引き起こされている不幸な事件にみら

信するものとなつた。
十二回を数え、五百人余が合した心の交歓の場、北海道支部総会。今後多くの支持者に支えられ、充実発展することを願いたい。



北からの便り



長かった冬が終わりを告げ、ようやく春の訪れが感じられる今日この頃であるが、北の地方では春の暖かい風が吹くまでもうひと頑張りというところである。今回は北海道、東北地方の機動隊の皆さんに、北の地方ならではの警備や訓練の様子について語っていただいた。

かい春は必ずや訪れるのである。

北海道で使われる方言の一つに「しばれる」という言葉がある。一瞬にして体の芯まで凍らせてしまいそうなくらい寒さが厳しいときによく使われる言葉である。我々は道産子である。したがつて多少の寒さは御手のものではあるが、こと「しばれる」寒さに関してだけは閉口を余儀なくされる。

この様な寒さの中での警備訓練は、猛暑の中での訓練とはまた一味違つた過酷な部分を備えている。冷気に触れた瞬間、全身が硬直したようになり、吹く風は顔面に切り裂かれたような痛みを与える。息をしようにも冷たい空気は、気管をも凍らせてしまいそうな勢いで喉や肺に突き刺さり、思い通りに吸いこむことができない有り様である。そして、通常ならば訓練後は汗の処理をするものであろうが、この冷気を前にしては汗をかこうにもかく事すら許してはもらえず、その分余計に疲れが増すのである。正にこれが北海道の大自然を相手にしての訓練なのである。

開拓時代、この北の大地を切り開いた先駆者達は、そのフロンティアスピリットを持つてしても、この大自然にだけは立ち向かう事は避け、じつと長い冬が終わるまで耐え忍び、その苦しみの中から忍耐力を培ってきた。しかしその後継者としてこの地に住み、更には北都の守りの要として「北の精強」を誇る我が北海道警察機動隊は、この成果を遺憾なく發揮する事こそが、自然の厳しさを日々のつらい訓練で克服し、より一層強靭な忍耐力、精神力を身に付け、日頃の勤務においてその覚悟である。

北の精強

北海道警察機動隊
武田直人

冬来たりなば

北海道警察機動隊
菅原雄一

冬のひぐま、 がんばれ！

北海道警察機動隊
守谷明浩

冬山の遭難・ 迅速な救助活動

青森県警察機動隊
板橋政樹



雪が降り出すと積もるのは早く、あつという間に積雪は何十センチにもなる。除雪しても除雪してもなかなかない雪、毎日毎日降り続く雪、容赦なく降り続ける雪は、いつしか私達の外とうの中にしみ込み、体中を凍りつかせる。勤務の大半が外での活動を強いられる私達にとって、雪はその行動を停止させる白い魔のようにも思える。雪だけではない、その寒さにも格別なものがある。一日中、気温がプラスにならない真冬日の凍えながらの勤務は、その闘志さえも冷めさせようとする。「何のためにこんな事をしているんだ」「もうやめてしまいたい」。悪念にも似た思いばかりが頭の中を走る。しかしそんな悪条件の中、私達はそれぞれの心に「熱き治安の灯」を燃やし、いつか必ず訪れる春を待ち望み、厳しい勤務に耐えながらも、自分の信じた道を一心に、道民の期待と信頼に応えることのできる「真に強靭な機動隊」を目指し、日々努力している。



十勝岳に大きな動きもなく、わずか一週間程の勤務ではあつたが、厳寒の中、任務を完遂することができたのも住民からの熱い期待があつたからだと思う。北海道警察機動隊のトレーディングカードは「ひぐま」である。我々は、一年中活躍のできる冬眠をしない「ひぐま」を目指し、今日も雪の中を駆けている。

本県は山岳スキーのメッカ「八甲田山」があり、県内外から多くのスキーヤーが訪れます。そのスキーヤーの中には、山岳スキーの怖さを知らず無謀なツアーやする人々も増え、そのため遭難事故も年々多く発生しています。昨年の五月に発生したある美瑛町へ向かつたのである。

雪降る中、美瑛町に着いた我々は防寒の準備を万全にし、いざ十勝岳の始まりである。雪が降り出すと積もるのは早く、あつという間に積雪は何十センチにもなる。除雪しても除雪してもなかなかない雪、毎日毎日降り続く雪、容赦なく降り続ける雪は、いつしか私達の外とうの中にしみ込み、体中を凍りつかせる。勤務の大半が外での活動を強いられる私達にとって、雪はその行動を停止させる白い魔のようにも思える。雪だけではない、その寒さにも格別のものがある。一日中、気温がプラスにならない真冬日の凍えながらの勤務は、その闘志さえも冷めさせようとする。「何のためにこんな事をしているんだ」「もうやめてしまいたい」。悪念にも似た思いばかりが頭の中を走る。しかしそんな悪条件の中、私達はそれぞれの心に「熱き治安の灯」を燃やし、いつか必ず訪れる春を待ち望み、厳しい勤務に耐えながらも、自分の信じた道を一心に、道民の期待と信頼に応えることのできる「真に強靭な機動隊」を目指し、日々努力している。

方法は、転落した地点から下流に五メートル間隔で深さ二メートルの穴を掘り、沢を捜索するような方法で実施したのですが、現場の地形が非常に陥りやすいため、命綱をつけての捜索となりました。捜索開始から約一時間後、転落した場所から七メートル下流の水深約一・五メートルの沢の中から、遭難者の遺体を遺体で発見し、アクアラング班によって収容しました。

いため、命綱をつけての捜索となりました。捜索開始から約一時間後、転落した場所から七メートル下流の水深約一・五メートルの沢の中から、遭難者の遺体を遺体で発見し、アクアラング班によって収容しました。

りましたが、今回の捜索活動を振り返り、春とはいまだ雪深い八甲田山中のでの遭難にもかかわらず、短時間でその目的を達成できたのは機動力をフルに活用したことと、各班の連携のどれた活動の結果であると思っています。

今後、益々この種の遭難事故の発生が予想されますが、有事に備え、迅速的確な捜索救助活動をするため、冬山での厳しい訓練をこれまで以上に実施

「北海の訓練」

秋田県警察機動隊

伊藤忠善

冬期間の訓練は、ややもすれば消極的になりますが、当隊は寒さの厳しい年頭にあえて水難救助訓練を行つてます。

この訓練は年間を通じて最も出勤事案の多い水難救助活動の強化を図ることを目的に行つてます。それ以上に厳寒の海中に飛び込み、身を引き締めることによって「勇猛・果敢」な士気を醸成することを最大の目的として行つてます。

荒ぶる日本海を前にして、氷点下に近い海中に次々に掛け声をあげて飛び込むアクアラング部隊。吹雪を体正面に受け、うねる海上を水しぶきを突き進む舟艇班。正に「精強な機動隊」にふさわしい訓練であると共に、本年の水難無事故を祈願する訓練でもあります。

お知らせ



◎寄付金

スカイコート㈱から三月十六日付で五十万円のご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。

◎式典・総会

(1) 警視庁機動隊観閲式

六月六日(火) 午前七時から

(2) 第十三回通常総会

六月十四日(水) 午後五時から
東京都中央区・八重洲富士屋ホテルに於いて

(3) 中国支部総会

六月十六日(金) 午後五時三十分から
「広島県社会福祉会館」に於いて

奮ってご参加のほど、お待ち申し上げております。

「任務の尊さを胸に」

岩手県警察機動隊

船渡茂巳

登山者が山頂に立つことを断念するのは、遙かに聳える山の姿に挫折するのではなく、靴の中に入ったほんの小さな石ころに弱音を吐くからなのだ

ある。

私もこれまで岩手県警察山岳遭難救助隊の一員として、幾度となく救助活動に従事してきたが、この小さな石ころは常に姿形を変えて私の前に現れてきた。それは時に使いたい物が奥に詰め込んであるザックであり、テーピングが必要な足などであった。いずれも簡単な労力で解決できる問題なのであるが、それができないという異常な世界が、そこには存在するのである。

こんな具合であるから、好き好んで救助に出動する隊員はおそらく一人と

精強機動隊

伊藤忠善

していない程であろうし、本音を言えれば私自身もそうなのである。ただ、私は救助活動という職務が厳しいと感じるつもりである。この「任務の尊さ」という真実が、私を山に登らせる最大の理由となつてゐるのである。

どんなに苦しくても、自分が尊いと信じる道を進む――。そこに即ち人間の誇りと使命感が生まれるとするならば、私は迷わずこの道を歩いていこうと思う。ほら、聞こえませんか。私達の「息」と「かんじき」の音が！

北からの便りいかがでしたか？北の地方で警備に携わる機動隊員の方々の訓練、仕事の様子や御苦勞が伝わってきます。想像を絶する雪や寒さとの闘いの中で不屈の精神力と体力を培つてゐる北の機動隊員は、正に「北の精強」。今後の活躍が更に期待されます。

6月号では日本の反対側、南の地方より「南からの便り」をお届け致します。

婦警特機をよろしく！

～婦人警察官特別機動隊～



八王子警察署
警視庁第四機動隊所属

交通執行係

巡回 新野敦子

☆出身地 千葉県 (25歳)

☆警視庁第四機動隊入隊日 昭和63年11月1日

☆趣味 音楽鑑賞・スポーツ全般

☆特技 ギター演奏

☆習い事 英会話・着付け(着物)

☆自己紹介 婦人警察官特別機動隊員として、第10期に統いて2期目ですが、やはり北の開いたの中で不屈の精神力と体力を培つてゐる北の機動隊員は、正に「北の精強」。今後の活躍が更に期待されます。

6月号では日本の反対側、南の地方より「南からの便り」をお届け致します。

今までの機動隊における印象に残つた警備出動

平成元年2月17日～26日の間の大喪の礼に伴う警備

今回の方が余裕をもつて勤務できるようになります。機会があれば、好きな英語を生かして警備にあたりたいと思つています。どうぞよろしくお願いします。

スカイコート(株)周東商会

芝本龍平

高周波熱練(株)

杉尾榮俊

高洋商事(株)

学嘉悦学園

大内俊司

東鋼業(株)

光洋商事(株)

高周波熱鍊(株)

周東商会

芝本龍平

高周波熱鍊(株)

学嘉悦学園

大内俊司

東鋼業(株)

高周波熱鍊(株)

学嘉悦学園

「プラトーン」を見て

山形県警察機動隊

亀田良一

最近私が見た映画の中で一番印象に残つてるのは、ベトナム戦争を題材とした「プラトーン」です。

この映画を見た動機は、話題作であつたこともあります。テレビでベトナム戦争帰りの人を特集した番組を見たからです。その中で、従軍した兵士が帰国後、戦時下での異常な体験から精神障害を起こしたり、枯葉剤の散布により肉体的な後遺症が出て、その子供にまで影響を及ぼし社会復帰が出来ないでいる、といった内容だつたのです。

私はこれまで戦争映画は好きではありませんでした。なぜなら戦争そのものを偽善的に取りあげている所があつたからです。しかしこの映画では、ベトナム戦争の悲惨さと無意味さを、アメリカという当時国が正面からとらえ、

〔あらすじ〕
新兵として戦場に送られた19才の少

年が、ベトナム戦争の悲惨な地獄を体験していく様を冷酷に痛ましく追う。

虐殺と暴力の裏に隠された人間の残酷さと切り。無意味なベトナム戦争の

眞実を正面から描いた話題作である。

努力と実績

精強機動隊

☆好きな作家 三浦綾子
☆好きな言葉 「元気・根気・やる気」
学生時代 クラブの部室が盗難にあつた時、親身になつて捜査してくれた刑事に感動して、同じ職業を選びました。

今までの機動隊における印象に残つた警備出動

平成元年2月17日～26日の間の大喪の礼に伴う警備

今回の方が余裕をもつて勤務できるようになります。機会があれば、好きな英語を生かして警備にあたりたいと思つています。どうぞよろしくお願いします。

読者の広場



姿勢と腹

橋山和生

大喪の礼の翌日、伊勢神宮の水浴会に参加する機会があった。伊勢修養園道場で正座をした後、夜半より五十鈴川に入る水行である。畠の上で古来の正座の姿勢を教わり、腰骨をしつかり伸ばし、どつりとした自然体となる。目を閉じていると今まで聞こえなかつた雨垂れが屋根を打つ音、木々が風に吹かれ音が耳に入つてくる。そしてやがてそれも聞こえなくなる。思えば姿勢というのは大切なものである。腰、背中をしつかり伸ばし頸動車のナンバープレートや交通標識を多量に製造しているからビジネスになるかもしれない」と、アメリカ人特有的に甚だ積極的且つ一切こだわらない意見なのである。当方も日本男子の名前が「すたら」らしい様に、内心はどうか快諾した。

午後8時。雨の中を黙々と歩くこと15分、五十鈴川につく。脱衣をすませると風の冷たさと雨の激しさが身を突く。鉢巻を固く締め直し、「流汗鍛錬」との掛け声のもと大きく息を吸つて飲みこみ、下腹に詰め込む。不思議と寒さが感じられなくなる。所謂「腹が座つた状態」になる。修養園長の掛け声のもと一齊に川に入る。腰の高さの所まで歩んだ後、一気に肩まで身を沈める。和歌を朗詠するが、体中が麻痺して、ともすれば浮足立ちそうになる。この時の耐える姿勢もやはり手前で合わせ、下腹に力を入れ腹を据えた形である。

水行を終え川原で着衣する際、隣の人の肩越しに見た木々の黒さと空の蒼さが、今も印象に残る。

一夜明けて翌朝、伊勢神宮への公式参拝をして歩き砂利を踏む。

それ以来、姿勢を正す事としつかり息を吸

い込む事を注意して実践しているが、爽やかさが心身にみなぎり、一層の力が湧いてくるようである。今後共、姿勢を正し腹を据えて生活していきたい。

アメリカ・プリズン見聞記

木下英雄

いまから十五年ほど昔の話になるが、表面にセツツ州コネチカット州等東部地区を歩いていた折のことである。

たまたまこれら地区的當業を依託していた同氏はM.I.Tで機械工学を学んだ立派なエンジニアで、無論彼が以前にそのプリズンのお世話になつたからではないのだが、所内では自動車のナンバープレートや交通標識を多量に

製造しているからビジネスになるかもしれない」と、アメリカ人特有的に甚だ積極的且つ一切こだわらない意見なのである。当方も日本男子の名前が「すたら」らしい様に、内心はどうか快諾した。

ワルブルー刑務所は自由の國とはいえプリズンは周囲の壁は甚だ高く、入口は重い鉄扉があつて中間の見張りは上方から自動小銃を構えて我々をチェックしており、やがて手枷をはずして入所する。

鉄扉は「やけに」大きな音で閉じられたが、これで老婆とはお別れかと一瞬ドキリとしたことは本心である。

しかし所内の設備はさすがで、真青な芝生に建物が点在し囚人諸君も比較的の自由のようであるが、最も驚いたことに面会に来た女性と長いキスを交わしている連中がいたことである。本館の中には立派な図書室、体育施設、上等なもので、少なくとも戰前派は御存知の野外演習の裾野の廠舎の食堂は及びもつかない。機械設備も仲々のものであつたが、作業中の囚人諸君から大歓迎され、「何處から来た、何しに来た」の質問は言つに及ばず機械の操作まで至極一寧に説明されるのには参

つた。連中の八割近くは大男のブラックであつて不気味な感じであり、殆どの囚人は無期刑のようだ時間はたっぷりあるわけである。

ともかく何とか切り抜けて所外に出た時は直ほつとした次第であったが、所長が我々を自宅に招いてくれ、囚人の残り物ではないだろうが山盛りのサンディッシュと馬鹿でかいカップのコーヒーを御馳走になつた。さすが平素食欲極めて旺盛な小生にも余り手がでなかつたのは致し方がないことであつた。

あとで聞いた話では、我々が辞去した数週間後に刑務所で暴動が起きて火災と共に多数の死傷者が出て由で、あれだけ立派な刑務所が冷たくなつた。又その折特参考した表面処理鋼板の各種サンプルが焼失したのは言うまでもない。

こうした風潮の拡がる頂点で起きたのが、二・二六事件で、北陸の田舎高校一年の時に列車が一週間も止まり、新聞も来ぬ日が多かつた。ラジオでの事件を知り、衝撃も大きかつた。当時の高校では自由、自我を求める空気が強かつた。彈圧された左翼の根も残つていた。私達青年の心はゆれにゆれていた。

この年、議會を傍聴した。たまたま齊藤隆夫の蘭軍演説に出会い、火を吐く大演説、議場はしんとし、時々破れるよくな拍手があつた。

昭和もはじまつた二月の開夜、篝火、松明に映えた幻想的な王朝絵巻でも見るような衣冠束帶の方々、帽子の毛羽を飾かせた大禮帽の文武百官に守られ、四頭の牛に曳かれた大正天皇の靈柩車（轎車）を見送つた。この御大喪の直後、新橋交差点近くにあつた十五銀行の大勢の人々が取り巻いていた。金融恐慌で父が「大変だ」と嘆いた

鉄扉は「やけに」大きな音で閉じられたが、これで老婆とはお別れかと一瞬ドキリとしたことは本心である。

十三年、東大経済学部に入る。この年の二月、左派の大内、有沢、勝村の諸教授の追放とともに、右派と目された土方、田辺等の諸教授もまた学外に去つた。象牙の塔も世論の中で揺れ始めた。

国家総動員法、徐州占領、武漢三鎮占領、ノモンハン事件、支那事變と、戦線は拡大の一途をたどつた。ムソーリー、ヒットラーの姿が新聞に大きく出るなり、ヒットラーの「我が闘争」がベストセラーとなり、防共協定、三國同盟へつながつていく。街にはニュース映画館が出来、人々は戦果の映像に、はためく日章旗に拍手を送つた。大衆食堂もカレーライスだけの日を設け、軍事教練も從来の学課から実科に移行した。戦時色は一段と深まつた。

十五年夏休み、私は第一回学徒勤労報国隊に参加、北支に渡つた。山西省太原で共産党の活動も熱烈にこれを支持していた。私達少年は

口を輝かせてこれ等の記事を読み奮起し、感動日々を送つたものだ。

犬養直相殺害の五・一五事件が起きる。

馬鹿の世論も、その行動を批判するよりも動機の純粋さ、烈々たる愛國心に対してむしろ同情的であつたし、何とかしなければならないという革新性にひかれていたようだ。村々から出征兵士を見送る日の丸の旗が目立つよ

うになつた。

日を輝かせてこれ等の記事を読み奮起し、感動日々を送つたものだ。

十六年十二月、繰上げ卒業、開戦と同時に撤兵された。開戦後まもなく、難波田教授は大変な事になつた。一年以内に終結させなければ大変な事になつた。一年以内に終結させなければ大変な事になつた。と私に語つた。米英を相手に日本が勝つなどとはとても思えなかつた。私は君國のために命を擲げるより外はないと思った。こうした私に「例え手足がなくなつても帰つてきなさい」と言つた母の言葉を思い浮かべる。この母も私達兄弟の復員を待たず、世を去つた。

マレー、スマトラと戦線を歩き、二十一年日鐵広畠に復員する。広畠製鉄所は完全に休止しており、構内のいたるところで芋を植えて地で多くの人口を養うのに重化学工業の確立以外はないという國の方針から傾斜生産即ち鉄、石炭、肥料に復興金融公庫の金と補給金の援助がなされた。また一方、各企業は集中生産競争に入った。ドッジ氏の様に鉄鋼生産無用論もあつたし、ストライキミッショングの七〇〇万トンというのもあつたが、日本

の粗鋼規模は二〇〇一三五〇万トンが適当と當時の識者は考えていた。今日の一億トンなど夢想だにしなかつた。ドッジ氏の超均衡政策による不況も朝鮮戦争特需で好況に転じ、今日の経済基礎基盤が出来上がつた。

その後富士製鉄、新日鐵、日本製鋼、スチールセンターと職を移したが、日本経済の高度成長路線の中で、大方の方々と同じよくな生き方をしてきたようだ。激動の昭和というが、文字通り昭和と共に生きて来た私には、昭和の終わりがそのまま私の終焉のようと思えてならない。

今月の言葉

警備充実

隙のない警備で訓練成果を發揮

はげまし

李鵬中国首相の警備完遂

国家行事の無事遂行を守る機動隊

鉄壁の守りで



中国の李鵬首相は、四月十二日から十六日までの五日間の滞在、竹下首相との会談、宮中の午餐会出席、製鐵所見学や家電メーカー「本社見学」千葉、岡山、福岡等各県への視察等、予定行事を精力的にこなした。

今回の来日に関しては、特別大きな懸念は無かつたが、公賓一行に万が一の事態が生じてはならない為、都心はもとより行く先々では、機動隊員等が静けさの中にも細心をはらった警護体制で臨んだ。各種報道では、李鵬首相の行動や人柄が報じられたが、こうした国家行事が平穀にとり行うことができるこ

途上国に供与されている。又、民間の資金もいまや先進国をはじめ世界に向けて多量に流れおり、資金面では我々が国内で考へている以上に世界とのつながりが強くなっている。

一方、この数年来の円高により我が豊かさのみならず、精神的、文化的な豊かさが自分も満たされない。その原因として住居は、日本人は自分のことだけ考え、金

経済大国



リーグ戦、優勝旗を目指して

発行所

社団法人 機動隊員等を勤ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144 五十鈴ビル2階
発行人 鈴木 寛
TEL 03(739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

警視庁

体力と精神の鍛磨

機動隊対抗柔剣道大会



史上最大の警備と言われ、様々な側面から報道された「大喪の礼」の重大警衛警護警備。当日の警備を全うした隊員の活躍は、多くの人々の感謝の気持ちは得ると同時に其に事を成し得たという達成感や安堵感は隊員のみならず、多くの国民が一体になって維持されていることをますます心強く思う。がんばれ機動隊。

去る四月五日、新装なった警視庁柔道館において、警視庁警備部の平成元年第一回機動隊対抗柔剣道大会が開催された。

機動隊といえば、柔道剣道の達人が沢山居るところ。治安のプロとして任務を果たすためには、頑強な体と強い精神は欠かせない。日頃の鍛錬の腕にものをいわせ、若い隊員らの熱気溢れる戦いが繰り広げられた。

大会は、機動隊各機に分かれてのチーム対抗リーグ戦である。午前八時三十分に開会後、午後三時まで予選リーグから決勝リーグまで優勝旗をめぐつ



▲気迫みなぎる戦いの連続

「機動隊員等を励ます会」に警視庁より感謝状

当励ます会に、去る三月九日、警視

庁から感謝状が贈られた。「平素から警察業務に深い理解を示され特にこの度の昭和天皇大喪の礼に伴う警衛警備に

意味において開発途上国への経済援助がふえていることや、海外へ進出した企業がその国の地域社会へ貢献する活動が増加していることは大変よい傾向である。

今後、日本が本当の意味で世界に冠たる大国になるには、単に経済のみならず、政治的にも文化的にも大国となるような施策がとられることであり、日本に住む我々の生活も大国にふさわしいものになる日が早く来るこ

とに喜ばしい事であり、今後も一層の会の発展と存続を確信するものである。

（二頁へ続く）

昭和天皇のご大喪の礼に世界一六六ヶ国のうち一六四ヶ国の代表が参列されたことは、世界の中でいかに日本が注目されているかのあらわれである。

日本が第二次世界大戦後の苦難から立ち上がり、驚異的な高度成長を遂げ、今日世界有数の経済大国となつたことは、我々日本人が感じてゐる以上に世界各国の人々が感じてゐるのではないのだろうか。

その一つとして我が国の海外への経済援助は年々に増加し、一九八八年には米国を抜いて世界第一の援助供与国になつたと推定されており、これらは東南アジアを中心世の多くの開発

国の国民所得は名目でみれば世界最高水準に達しているにもかかわらず、日本に住んでゐる我々にはそれ程豊かさを感じられない。その原因として住居費の高さ、食料品をはじめとする日常

儲け主義であるといわれる。そういう



(小原 信二)

大喪の礼余話

心温まる隊員と人々とのふれあい

史上最大の警備と言われ、

様々な側面から報道された「大

喪の礼」の重大警衛警護警備。

当日の警備を全うした隊員の活

躍は、多くの人々の感謝の気持

ちを得ると同時に其に事を成し

得たといふ達成感や安堵感は隊員の

みならず、多くの国民が一体になつて

強く思う。がんばれ機動隊。

新隊員特集

新隊員、頑張る!!



第一機動隊第一中隊
巡查川 畠 雄 史

春の訪れとともに新隊員がやって来た。厳しい新隊員訓練を終えた今、あふれる希望を胸に志を新たにしているであろう新隊員の皆さん。機動隊に爽やかな新風を吹きこんでくれることであろう。



第三機動隊第四中隊
巡查藤原 靖彦

苦しみ合つただけなのに友となり、そとの友の大切さ偉大さが実感できました。この一週間、体力的にも精神的にもくたくたになり、時には逃げ出そうと思つたこともありました。しかし、じつと耐え我慢したことにより、人間にとつて何が一番大切かということを知りました。人間、誰だって樂をしたがりました。しかし、この訓練を通じて一生に一度は苦勞し、苦しみの中から喜びを搜してみると良いことだなあと思いました。

私はある目的を持つてこの警視庁第三機動隊にやつて来ました。やはり機動隊に来たからには様々な目標を立て、それに突進すべきであると思います。私自身「変化はチャンスである」



第五機動隊第三中隊
巡查時 田 博 史

技術の先輩方には大変感謝しております。頭でわかつていても体がついていかないという点をつくづく感じました。それでも、様々な操作要領を教えて頂き、技術の先輩方には大変感謝しております。頭でわかつていても体がついていかないという点をつくづく感じました。しかし、自分自身では気付かないうちに少しずつプラスに向かっているのかもしれません。従つて今後様々な状況を経験し積み重ねていくことで、自分自身を大きく成長させていくよう努力する所存です。



第九機動隊第一中隊
巡查部長 大野木 勝 幸

三中隊員として初めて勤務した今日、中隊長が「機動隊は学校と同じく、人生修養の場である、この機会を生かして鍛えていきたい」といいます。三年間という短い間、精一杯頑張つてくれ」と言われました。私はこの機会を悔いのないよう、元気とやる気のある隊員として頑張ります。

この一週間、毎日本当に苦しいものがありました。機動隊での新隊員訓練といふものについては同期生が半年前に機動隊に入隊しており、話には聞いておりましたが、こんなにも辛く苦しめられていたら、こんなに激しく厳しい訓練を行うとは予想

ませんでした。ある者は足をくじき、ある者は倒れてヘドを吐くという、こんなに訓練が連日続くとは思つてもいませんでした。でも、私は、新隊員として必要な事はもできれば外事一課に入ることが目標でありましたし、それに向かつて最大限の努力を尽くし、その結果もそれなりに出てから非常に厳しいと話に聞いていた新隊員訓練もあつと言う間に終わり、私は当隊三中二小三分隊員として勤務する事になりました。そこで、ここに第五機動隊新隊員としての抱負をいくつかあげてみます。

一、はじめに
四月十九日、初めての機動隊勤務を命ぜられ、多少の不安のもと第九機動隊の門をくぐった。「警察官ならば若干いちに一度は経験してみるといいよ」

と誰それとなく言うように、私の三十四歳という年齢からして期は熟したところには、特務係を希望しています。私服員が希望ですし、成田に向して何か機動隊長に昇任したい気持ちも強く抱いています。

新隊員訓練は確かに厳しいという感じを持ちましたが、この先輩方も今まで、またはこれ以上の厳しい訓練をやつてきたのだから私ができない事はないと思い、何とか乗り越えることができました。この一週間で起きた出来事は良き思い出となり、または鮮明に印象に残ると思います。今にして思えば大柄というものの存在の重要性をこの警視庁第三機動隊に来て、改めて思い知らされる思いがありました。何と言つても、様々な操作要領を教えて頂き、技術の先輩方には大変感謝しております。頭でわかつていても体がついていかないという点をつくづく感じました。しかし、自分自身では気付かないうちに少し、自分自身では気付かないうちに少しずつプラスに向かっているのかもしれません。従つて今後様々な状況を経験し積み重ねていくことで、自分自身を大きく成長させていくよう努力する所存です。



数年後退隊する時、本当に機動隊に来て良かったという感動が胸にこみあげて来るよう、一日一日を確実に力強く踏み歩いていく決意である。

(一)和と団結
部隊を生かすも殺すも一人一人のやる気と分隊長としての私の指揮能力、即断力等にかかる。隊員の統率道へ近づきたいと思っています。
またこれらの目標を実現し、その中で男を磨く事が最大の抱負でもあります。前任署はそれなりにすばらしい面がありました。なれど、天から頂いたこの機会を十分に生かし、多くの事を体験、修得し、いつも新たな気分で自分を鍛えていきたいと思います。

三中隊員として初めて勤務した今日、中隊長が「機動隊は学校と同じく、人生修養の場である、この機会を生かして磨く努力をし、時には厳しくまた温かく隊員を指導し、楽しく勤務ができるのとれた行動は、常日頃から和と団結がなければならぬ。私は自分を更に多く努力をし、自分自身では気付かないところがあつたが、天から頂いたこの機会を十分に生かし、多くの事を体験、修得し、いつも新たな気分で自分を鍛えていきたいと思っています。

三中隊員として初めて勤務した今日、中隊長が「機動隊は学校と同じく、人生修養の場である、この機会を生かして三年間という短い間、精一杯頑張つてくれ」と言われました。私はこの機会を悔いのないよう、元気とやる気のある隊員として頑張ります。

(二)和と団結
下していたかを改めて痛感した。機動隊は若い人が多いだけに、また大警備を想定した場合それに打ち勝つ強靭な体力、気力を必要とする。常日頃から

新隊員訓練を終え、いかに体力が低下していくかを改めて痛感した。機動隊は若い人が多いだけに、また大警備を想定した場合それに打ち勝つ強靭な体力、気力を必要とする。常日頃から

(三)氣力・体力の鍛磨
新隊員訓練を終え、いかに体力が低下していくかを改めて痛感した。機動

隊は若い人が多いだけに、また大警備を想定した場合それに打ち勝つ強靭な体力、気力を必要とする。常日頃から

と誰それとなく言うように、私の三十四歳という年齢からして期は熟したところには、特務係を希望しています。私服員が希望ですし、成田に向して何か機動隊長に昇任したい気持ちも強く抱いています。

(一)警部補昇任

厳しい新隊員訓練を経験してみると、元気がなくて怒られた奴はいても、元気がでてうるさい、と怒られる奴はない、特に新隊員は元気があればいいと、口も聞いたこともない人が「どうした、元気ないな」とか「一緒に最後までがんばろうぜ」とか声をかけてくれるので。その言葉は何にもまして私は支えてくれ、私も力を与えてくれました。ほんの数日間寝食を共にし、そ

りに出してきたつもりです。この度の異動で警視庁第三機動隊に配属されたからには、特務係を希望しています。

私は、新隊員として必要な事はもできれば外事一課に入ることが目標でありました。多少厳しく知らず知らずのうちに友となり、知らず知らずのうちに友情が生まれてい

たのです。疲れきつてうつむいていると、口も聞いたこともない人が「どうした、元気ないな」とか「一緒に最後までがんばろうぜ」とか声をかけてくれるので。その言葉は何にもまして私は支えてくれ、私も力を与えてくれました。ほんの数日間寝食を共にし、そ

りに出してきたつもりです。この度の異動で警視庁第三機動隊に配属されたからには、特務係を希望しています。

私は、新隊員として必要な事は

余話「大張の礼」

(一頁より)
◆神奈川県川崎市在住の機動隊副隊長

は、自宅より警備担当地(五日市)まで通勤時間が2時間余り。崩御から大喪の礼までの五十日間を通勤しながら完璧な警備を行うことは無理と判断

即刻五日市近くの寮に泊まり込みの体制で臨んだ。その間、自宅に帰つたのは、僅か四日間のみ。隊員の使命感もさることながら、隊員の家族の協力理解が隊員の支えの一部となつたのではないか。隊員は、天皇陛下の御病状を察し、二月に結婚式を延期したところが、一月に崩御あそばれ、一月の大喪の礼が決定した為、三月に式を再延期した。

都内某所の式場関係者も、事情をよく理解して下さり、再三の延期にも応じてくれた。当日の隊員の喜びもひとしおであった。

◆街頭に立ち警備する隊員を見掛けた近くの家から、日中お婆さんが隊員にコーヒーの差し入れを持ってきて下さった。夕方には同家のお嬢さんが栄養ドリンクの差し入れ。そして夜十時には同家の受験生が「夜食にどうぞ」とサンドイッチを差し入れしてくれた。親子三代による暖かい励ましに隊員の感動は未だに強く心に残っている。

◆大喪の礼が迫る二月二十一日午前零時二十分、東京・大手町地下鉄駅周辺の警備に当たつていた応援部隊の大坂の隊員は、地下鉄階段より登つてきた一見浮浪者風の男性に「御苦労さん」と声を掛けられた。まだ若く桃太郎さんを連想させるような隊員は、労いの言葉に「お気をつけて」と応じた。すると、一段通り過ぎていったその男が再び隊員の面前に現れ、隊員が「何か御用ですか?」と聞くと、「おまわりさんの顔を見ると悪いことはできないと思いました」と言つた。その男は月通り過ぎていったその男が再び隊員の面前に現れ、隊員が「何か御用ですか?」と聞くと、「おまわりさんの顔を見ると悪いことはないと思いました」と思つた。その男は

正直な姿勢ほんの一言が人の心まで大きく動かした温まる話である。

◆天皇陛下が崩御あそばされた当日、弔問記帳の多くの人々が皇居前広場にやって来た。「記帳所はどこですか?」と尋ねてくる人々

を案内する隊員。当日雨の中を記帳六時終了の予定にもかかわらず人波は途絶える様子が

なく、記帳時間を延長して、警備に当たつていたが、八時三十分になつてもどんどん人がやつてくる。隊員が「もう終わりの時刻です」と言つたところ、「某テレビニュースで今夜は一晩中記帳を行うと言つてた。昭和から平成に変わるもの、どうしても記帳をし難い」と返ってきた。ニュースの誤報である

よ」と言つたところ、「某テレビニュースで今夜は一晩中記帳を行うと言つてた。昭和から平成に変わるもの、どうしても記帳をし難い」と返ってきた。ニュースの誤報である

と言つても、記帳所を目前にしている人々は帰る様子はなく、記帳を希望する人々で周辺は騒然となつた。一時間程、隊員が説得した末何とか治まつたが、いかにテレビの報道が重要であるか、改めて考えさせられる一幕であつた。

◆昭和天皇と戦前 戦後を共にしてきた多くのお年寄りは、何とか天皇陛下と最後のお別れをしようと「殯宮一般拝礼」にも沢山訪れた。二月まだ寒風吹く中折れた腰で皇居に一步足を運ぶお年寄りの姿を見て、同所を担当していた機動隊隊長は、すぐさま皇居前広場に設置してあつた本部テントをお年寄りの休憩所として開放した。またたく間に多くのお年寄りでテントは一杯に溢れ、テント内にあるストーブで冷えた体を暖め、隊員らの入れたお茶をすり元氣をとり戻し再び皇居内へと歩いていく。しかし、沢山の人々が訪れていた為、人混みに揉まれ拝礼を終え再び皇居を出てくる姿は、痛ましい程疲れた様子であった。見るに見兼ねた隊長は即刻車を二台準備させ、疲れたお年寄りを東京駅までピストン輸送してあげた。駆へ送る車中で多くのお年寄りは隊員達の優しさに涙ぐみ感謝の言葉を言つた。中に、あるお婆さんが「ほんの気持ちですか」と手札を差し出した。

◆大阪府警察第二機動隊 谷内田 章 「優駿」を観て

この映画は、一頭の馬の出生から四歳牡馬の最高峰日本ダービーに優勝するまでの人生

馬の心暖まる物語です。

私がこの映画を選んだ理由は、人と馬との愛情、そして生きることの素晴らしさに感動したからであります。

この物語に出てくる「オラシオン」という馬は、大変貧乏な牧場に生まれました。その牧場の場長は生涯一度ダービーに勝てる馬を生産しなく、借金をして莫大な種付け料を支払い、ある名馬の種を白馬の「ハナカゲ」に付けたのです。生産者としては、牡馬ではダービーを牝馬ではオーケスを一度は制覇したいと言っています。それは、金銭面をとにかく言つてはいけないことは、馬を育てる人間にとつて大変豪華なことであり、夢でもあるからなのです。

私は、この映画を観終わって何かほつとし

たような気分になりました。同時に、私の人生に数多くの困難や苦しみが待つことは、馬を育てる人間にとつて受けていると思いますが、その時どんな逆境にも立ち向かっていく勇気と根性をこの映

画を観て教られたような気がします。

さて、このオラシオンは牧場から美浦トレセンに輸送中、事故で右前脚を負傷したので、その後、私自身も機動隊員として、厳しい治安情勢の中、「訓練で泣き、現場で笑える」と訓練等に汗を流していく所存です。

婦警特機をよろしく!
~婦人警察官特別機動隊~

警視庁第五機動隊所属

神田警察署 交通執行二係

清水 美雪 (21歳)

☆出身地 群馬県桐生市

☆警視庁第五機動隊入隊日 昭和63年11月1日

☆婦人警察官特別機動隊第12期

☆特技 音楽鑑賞 エレクトーン

☆習い事 特にありませんが管内の夜間短期大学に通学中です。

☆自己紹介

希望に燃え婦人警官として二年がたちました。理想と現実との間で一喜一憂の毎日ですが、はりきって仕事をしています。特機隊員としても、まだ未熟な私ですが、今しかで

きない事と思い、頑張りたいと思いま

ます。どうぞよろしくお願ひします。

ダービーは2400メートル、しかも東京競馬場はゴールまでの直線に約500メートルの坂があります。血統的にこの距離は難しく、右前脚の後遺症もあり、このまま出走することは統できません。この怪我の後遺症がダービーを目前にして問題になつてきました。

ダービーは2400メートル、しかも東京競馬場はゴールまでの直線に約500メートルの坂があります。血統的にこの距離は難しく、右前脚の後遺症もあり、このまま出走させると骨折の危険があつたのです。生産者の娘は「サラブレッドは走るために生まれてきたのよ。だから、出走させてやつて欲になるのはいたたまれない、出来ることなら

出走せたくないと言いました。が、しかし馬主の娘は「サラブレッドは走るために生まれてきたのよ。だから、出走させてやつて欲しい」と涙ながらに言い、その結果オラシオンは數々の逆境を乗り越え、見事ダービーに勝つのです。

私は、この映画を観終わって何かほつとし

たような気分になりました。同時に、私の人生に数多くの困難や苦しみが待つことは、馬を育てる人間にとつて受けていると思いますが、その時どんな逆境にも立ち向かっていく勇気と根性をこの映

☆好きな作家 夏目漱石
☆好きな言葉 「誠実」

「女性の特性を最大限に發揮し、広範囲にわたつて活躍できる仕事だ」と考へ、希望しました。

☆今までの機動隊における印象に残つた警備出動

平成元年2月16日～26日の間、大喪の礼に伴う警備です。私服で外国要人の宿舎警戒(赤坂プリンスホテル)に当りました。

☆好いな作家 夏目漱石
☆好きな言葉 「誠実」

「女性の特性を最大限に發揮し、広範囲にわたつて活躍できる仕事だ」と考へ、希望しました。

☆好きな作家 夏目漱石
☆好きな言葉 「誠実」

希望に燃え婦人警官として二年がたちました。理想と現実との間で一喜一憂の毎日ですが、はりきって仕事をしています。特機隊員としても、まだ未熟な私ですが、今しかで

きない事と思い、頑張りたいと思いま

ます。どうぞよろしくお願ひします。

若さと伝統
頑張れ機動隊

鈴木 實

青山特殊鋼(株)

大野興業(株)

草野産業(株)

亨和興業(株)

関東銑鐵(株)

高周波熱鍊(株)

小川運輸(株)

平和農産工業(株)

西野公庸

浅田弥三郎

橋山和正

竹之上誠剛

東海レバーラー鋼業(株)

東海鋼材工業(株)

丸橋正彦

早達運送(株)

北越メタル(株)

東北支部

(社)機動隊員等を励ます会

